

令和6年度  
香南市産業振興計画の取り組み状況について  
(R6.10月末実績)

・ 農業分野	:	1	～	5	ページ
・ 林業分野	:	6	～	7	ページ
・ 水産業分野	:	8	～	10	ページ
・ 商業分野	:	11	～	15	ページ
・ 工業分野	:	16	～	18	ページ
・ 観光分野	:	19	～	25	ページ

令和6年度の取り組み状況【農業分野】


	R6年度 数値目標	実績値 (10月末実績)	評 価	備 考
新規就農者数	10人	9人	-	

※ 目標値である「新規就農者数」は、毎年10月末から11月にかけて高知県中央東農業振興センターより公表される「前年度の新規就農者数」。



■ 取組の総評 （※ 左の数値に対しての総評）

【R6.4月～10月末の取組について】(P・D・C) 10月末実績:9人としたが、本指標はR5年度の新規就農者数を入力することから、これが年度末にも報告する最終値となる。 今年度の状況としては、新規就農相談件数は18件で、前年同月対比△5件と相談件数はやや減少。相談内容としては親元就農のほか、他産業からやUターンによる就農相談もあるが、すぐに研修開始としないまでも、研修開始に向けて継続的に相談を受けている方もいる。就農前の研修受講が難しい方や、その他補助要件を満たさず事業申請に至らないケースも前年に引き続き多かった。
【R6.11月以降の取組について】(A) 引き続き、農業振興センターやJAと連携を図り、各機関の担当者も交え就農相談に対応していく。また、県外 の就農相談会などを活用し本市のPRを行うとともに、地域おこし協力隊(みかん研修生)の確保に注力していく。

戦略の柱	事業名	R6年度の具体的な取組プラン【P】 R6年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R6年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R6.11月以降及び次年度)に向けて
<div>担い手確保に 向けた取り組み</div> <div><div>4</div>質の高い教育を みんなに</div>	◆ 担い手確保に向けた取り組み			
	1. 新規就農者総合対策事業(就農準備資金) 目標値： 補助交付人数(1人) 10月末実績：1人 ※旧「農業次世代人材投資事業(準備型)」 R4年度より名称変更。  【実施主体】 高知県  【連携する分野】－ (※当事業は就農前の支援)	【当初】 次世代を担う農業者となることを志向し、就農に有効であると認める研修を実施する研修機関(農業大学校等)において農業経営育成教育研修を受ける者に対して当補助金を交付する。 ※ 高知県による直接交付事業。 新・農業人フェアへの参加 県内就農相談会への参加  【10月末までの取り組み状況】 新規採択者:1人(ピーマン)	関係機関が連携し、新規就農希望者への相談対応を行っており、本年度は以前からの相談者の受け入れ準備が整い、4月から研修を開始した新規採択者がいる。  現状では、具体的な要件を確認した上で研修の受入先を探している相談者はいないが、相談者が多いニラをはじめ受入可能な指導農業士等が不足していることが課題。	移住フェアへの出展(東京1月)も予定しており、県内外での相談およびPRの機会を積極的に活用していく。今年度は地域おこし協力隊(みかん研修生)の募集について注力していることから、新・農業人フェアでなく移住フェアへの出展を決めている。その分、普段からの窓口対応も含めた就農相談等により、意欲ある就農希望者を着実に研修につなげられるよう関係機関とも連携を図っていく。
	2. 雇用就農資金事業 目標値： 補助交付人数(1人) 10月末実績:1人 ※旧「農の雇用事業」R4年度より名称変更。  【実施主体】 高知県農業会議  【連携する分野】－ (※当事業は就農前の支援)	【当初】 農業法人等が、新規就農者や被災農業者を雇用し、技術・経営ノウハウ等を習得させるために研修を実施したり、職員等を次世代の経営者として育成するために、国内外の先進的な農業法人や異業種の法人へ派遣して、雇用就農者の確保及び育成を図る。  【10月末までの取り組み状況】 新規採択者:0人	昨年度からの相談者がR6年2月より事業活用を行い研修を開始している。今年度に入り、雇用主も含め面談を行っており、雇用による研修から独立自営に向けた準備(計画)が行われている。  受入農家が就農希望者を正規雇用することが前提の事業であり、繁忙期や短時間での臨時雇用が多い中で正規雇用での受入が可能な農家を見つけていくことが今後の課題と言える。	JA・高知県中央東農業振興センターと情報共有や連携を図っていく中で、指導農業士や大規模経営を行っている農家を中心に正規雇用の可能性を探り、新規就農希望者とのマッチングを図っていく。


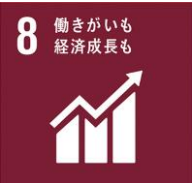

戦略の柱	事業名	R6年度の具体的な取組プラン【P】 R6年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R6年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R6.11月以降及び次年度)に向けて
担い手確保に向けた取り組み 	<b>3-1. 就農支援事業（新規参入者支援事業）</b> 目標値 : 補助交付人数 (4人) <b>10月末実績 : 1人</b> ※R6年度より名称変更。旧「担い手支援事業」  【実施主体】 高知県、香南市  【連携する分野】 - (※当事業は就農前の支援) (※ 1.就農準備資金とリンクする)	【当初】 産地提案書及び香南市基本構想に基づく品目を栽培する専業農家を目指し、高知県知事が就農に有効であると認める研修を実施する研修機関等で研修を受ける者に対して高知県及び香南市が補助する事業。 ※就農準備資金の上乗せ事業。  【10月末までの取り組み状況】 新規採択者: 1人(ピーマン)	事業No.1就農準備資金への上乗せが基本であり、新規採択者は1人。  原因及び課題は事業No.1に準じるもの。	左記のとおり事業No.1に準じるもの。
	<b>3-2. 就農支援事業（後継者就農促進事業）</b> 目標値 : 補助交付人数 (3人) <b>10月末実績 : 1人</b> ※R6年度より名称変更。旧「担い手支援事業」  【実施主体】 高知県、香南市  【連携する分野】 - (※当事業は就農前の支援)	【当初】 農家子弟を県外等からUターン就農させ、経営体の後継者として育成を行う認定農業者等に対して補助を行う。  【10月末までの取り組み状況】 新規採択者: 1人(ニラ)	昨年度からの相談者で、10月から1年間の担い手育成センターでの研修開始。 その他にも親元就農の相談はあるものの、親元での一労働力として考えられている方も多く、担い手育成センター等での研修が困難で事業活用に至らない場合も多く、その場合、市単独事業である農業後継者推進事業費補助金の案内をしている。	子や孫に農業を継いでもらいたいと考えている農家に対し、親元就農に関する情報(補助事業)を抜粋したPRチラシを市独自で作成し、配布している。認定農業者連絡協議会での配布をはじめ、就農相談会等での活用で市単事業と併せて親元就農の支援に向け取り組んでいく。
	<b>4. 新規就農者総合対策事業(経営開始資金)</b> 目標値 : 補助金の新規交付人数 (4人) <b>10月末実績: 4人</b> ※旧「農業次世代人材投資事業(開始型)」 R4年度に名称変更。  【実施主体】 高知県、香南市  【連携する分野】 - (※当事業は就農後の支援)	【当初】 次世代を担う農業者となることを志向する経営開始直後の経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対し当補助金を交付し、青年就農者の確保及び育成を図る。  【11月末までの取り組み状況】 新規採択者: 4名(夫婦型2組)(ニラ1組、みかん1組)	事業No.2雇用就農資金の活用による研修が終了した方が夫婦型にて4月より独立自営を開始(実践型研修ハウスを活用:ニラ) また、地域おこし協力隊での任期を満了し4月より独立自営をはじめた方も夫婦型にて採択。 その他にも本事業の活用について相談はあるものの、所得要件や家族の経営形態など要件を満たせない相談もある。	現時点で他に本年度内での事業採択が見込まれる方はいないが、次年度4月以降で独立予定の方が3名(うち夫婦型1組2人)。※地域おこし協力隊の任期満了に伴う独立自営就農(ニラ、みかん) 現在はこの3名の独立に向けた計画策定のため面談を行っており、年度内に担い手協議会による審査予定。 その他にも、引き続き窓口等での就農相談で要件に合う方がいれば案内を行っていく。
	<b>5. 農業後継者推進事業</b> 目標値 : 補助金の新規交付人数 (6人) <b>10月末実績 : 1人</b>  【実施主体】 香南市  【連携する分野】 - (※当事業は就農後の支援)	【当初】 農業後継者の就農直後の不安定な経営を改善し、就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。 (3親等以内の親族が経営する農業の後継者で、県及び国の支援事業に該当しない者が対象となる。)  【10月末までの取り組み状況】 新規採択者: 1人(みかん)  ※11月採択者: 2名(水稻・甘藷・ニラ、みかん) ※12月採択予定者: 1名(ナス)	担い手育成センターでの研修受講が難しく事業No.3-2就農支援事業(後継者就農促進事業)の要件を満たせない方などを中心に案内しており、10月末時点で新規採択者は1名。  11月以降での採択者(予定を含む)は3名おり、近年は安定して4人前後の方が採択されている。	国・県事業の対象とならなかった方への受け皿として比較的要件を緩和している事業でもあるため、事業No.3-2で記載のPRチラシなどを活用し引き続き親元就農への支援に取り組んでいく。
	<b>6. モニターツアー事業</b> 目標値 : 参加者人数 (20人) <b>10月末実績 : 人</b>  【実施主体】 香南市 / 香南市観光協会 / (株)山北みらい 【連携する分野】 - (※当事業は就農を検討される方に向けたスタートアップ事業)	【当初】 <b>事業中止</b>		



戦略の柱	事業名	R6年度の具体的な取組プラン【P】 R6年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R6年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R6.11月以降及び次年度)に向けて
<div>経営改善・農地維持に向けた取り組み</div> <div><div>2</div><div>飢饉をゼロに</div><div></div></div> <div><div>8</div><div>働きがいの経済成長も</div><div></div></div>	◆経営改善・農地維持に向け取り組み			
	1. 園芸用ハウス整備事業	【当初】 農家が規模拡大をする場合や、新規就農者がハウスを建設する場合に、JAがとりまとめを行い、申請してくるレンタルハウス事業や、中古ハウスの修繕や災害復旧に伴う建て替え等の整備に必要な経費の一部を県と市が補助し、農業者負担の軽減を図る。	ハウスの資材価格が高騰しており、自己負担額が大きくなったこと等が原因で新規ハウスを建てたい申請者が減少している一方で、中古ハウスの修繕又は移設による流動化区分の相談が増加している。	●今後の申請予定 【12月】高度化区分1件
	目標値：整備件数(13件) 10月末実績：4件	【10月末までの取り組み状況】 流動化区分(新規就農)・・・2件 流動化区分・・・1件 高度化区分・・・1件	しかし、流動化区分にしても資材高騰の影響は大きく、規模拡大を検討している担い手に対して、この補助金以外にも様々な支援策の中から総合的に支援していくことが今後の課題と言える。	R7年度については、引き続き中古ハウスの修繕・移設(流動化区分)を中心に事業の活用に向けて、JAや農業振興センターと連携し、周知していく。 また、新規就農者への支援として、無利子の制度資金の活用と併せて新規就農区分によるハウス新設も積極的に案内していく。
	【実施主体】 JA高知県 香美地区			
	【連携する分野】－			
	2. 園芸用ハウス等リノベーション事業	【当初】 JA及び市場等を通じて要望を取りまとめて、炭酸ガス発生装置等のリース導入を行った施設園芸農家に対し、国及び県の補助金に追加して香南市も助成を行う。	R6年度はハウス内部施設又は露地圃場の省力化・高度化につながる環境制御装置の導入機器数が18機に対して、ハウス本体の補強及び被覆資材等の高度化に要する資材の導入が1件だった。次年度以降は県と市の補助金が一本化されるため、メニューの整理とそれに対する周知が必要。	R6.11月以降申請予定件数 2件  今年度までは補助金を県と市、別々に出していたが次年度以降は間接補助となる予定。詳細については12月20日の説明会以降になるので、R7年度に向けて県との情報共有に努めている。
目標値：活用施設件数(25件) 10月末実績：9件  ※旧「環境制御技術高度化事業」 R5年度に名称変更。	【10月末までの取り組み状況】 9施設(19機) ・被覆資材1件・炭酸ガス発生装置1件 ・環境測定装置7件・日射比例灌水装置1件 ・自動開閉装置8件・カーテン資材1件			
【実施主体】 香南市				
【連携する分野】－				
3. 産地パワーアップ事業(ニラ)	【当初】 R3年度で事業終了			
目標値：事業活用件数(2件) 10月末実績：件 ※件数=導入機器数				
【実施主体】 香南市				
【連携する分野】 産地パワーアップ計画書 【香南市(ニラ)第2期】				
4. 地域計画の策定	【当初】 地域にある農地や後継者の現状を把握し、未来に向けた地域のプランを設計する。 R5～6：全地区(18地区)の計画策定。	計2回行った協議の場の参加者が、少ないことが課題と言える。 12月に行う地域計画(案)説明会では、農業委員・最適化推進員に協力をいただき農業者に対して出席依頼の案内文を渡してもらうように依頼している。少しでも参加者が増えるように今後も検討を行っていく。	●今後の予定 12月10日 地域計画(案)説明会【野市町】 12月12日 地域計画(案)説明会【夜須町】 12月16日 地域計画(案)説明会【香我美町】 12月19日 地域計画(案)説明会【吉川町・赤岡町】  上記のとおり地域計画(案)説明会を12月に開催し、R7.2月からは関係機関への意見聴取、その後は地域計画(案)の縦覧・公告し、R7.3月に地域計画策定・公告を行う。	
目標値：協議地区数(6地区) 10月末実績：18地区(2回目の協議の場実施済) ※人・農地プランの法定化によりR5より地域計画としての取り組みとなる。	【10月末までの取り組み状況】 6月から8月にかけて18地区において2回目の協議を実施し、R5年に協議した内容の取りまとめ等について説明し、その後地図を用い協議を行った。			
【実施主体】 香南市 香南市農業委員会				
【連携する分野】－				

戦略の柱	事業名	R6年度の具体的な取組プラン【P】 R6年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R6年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R6.11月以降及び次年度)に向けて
<p>経営改善・農地維持に向けた取り組み</p> <div> <div>2 観光をゼロに</div> <div>8 働きがいも経済成長も</div> </div>	<p>6. 農産物のブランド化の推進(みかん)</p> <p>目標値 :加工用みかん販売平均単価(円) 10月末実績 :一円</p> <p>※旧目標値:加工品の販売額 R5年度より目標値変更</p> <p>【実施主体】 JA高知県香美地区</p> <p>【連携する分野】 商工業・観光</p>	<p>【当初】 各事業の活用や関係機関との連携により「山北みかん」を題材に香南市や産地のPRを行い、青果や加工品(ジュース、バター等)の販売拡大に取組み、農業所得の向上や雇用促進、地域活性化を図る。</p> <p>＜事業活用＞ 農山漁村振興交付金事業(H29～R3年)による外商やPR活動。 加工品の推進。・香南市産業振興計画推進事業費補助金による販路拡大や施設整備の取組。</p> <p>【10月末までの取り組み状況】 収穫期が終わった後に販売平均単価を算出</p>	<p>本年度は裏年にあたり、もともと産地全体として収量は下がる見込みだったことに加え、猛暑等の影響が大きく、収穫が始まってみると、記録的な収量減となっている。一通り収穫が終わった極早生で前年比約55%、現在収穫期のピークを迎えている早生についても約50程度での進捗。近年稀に見る少なさとなっている。その影響で単価としても異常な値がついているとのことだが、そのため販売において影響を及ぼす可能性もあり、農家にとっては厳しいシーズンとなっている。</p>	<p>県内で確立されてきたブランド力によって、一定の販売は見込めるものの、ここまでの収量減のシーズンはあまり例がないようで、今後の単価、販売といった面でも先行きは不透明。11月には恒例となっている千葉県の「しよいかーご」での山北みかんフェアなども予定されており、産地としては、フェアなどの際にしっかりとPRし販売を推進していく。</p>
	<p>6. 農産物の販売力の推進(ニラ) ※ JA高知県(香南市分)入金額 ※ 園芸年度：8月～翌7月</p> <p>目標値 :ニラ販売額(1,000,000千円) 10月末実績 :1,355,274千円(R5.8～R6.7)</p> <p>【実施主体】 JA高知県 香美地区(香美地区 ニラ部会) 香南市観光協会・香南市・香美市</p> <p>【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.1 日本一のニラ産地拡大クラスタープロジェクト</p>	<p>【当初】 規模拡大志向のニラ農家や品目転換農家、新規就農者に対して、空きハウスの活用や省力化・収量向上の支援を行い生産量の確保を図る。また、流通・販売、観光イベントと連携したPR等により産地強化を推進する。また、そぐりセンターの積極的な活用を促し、販売促進を図る。</p> <p>【10月末までの取り組み状況】 1,355,274千円(R5.8月～R6.7月園芸年度実績) ※出荷量:1,925t</p>	<p>園芸年度実績として3億の増加となった。要因としてはそぐりセンターの利用者が徐々に増えたことで系統出荷が増加したことや、全体的な出荷量減に伴い単価高となったことが挙げられる。 市や振興センターも含め担い手との面談のときなどに、そぐりセンターの積極的な活用を呼びかけてきたことが一定の成果につながっていると思われる。 しかし、担い手の高齢化や引退なども続いており、産地全体としての出荷量は減少傾向にあるため、担い手の確保が課題となる。</p>	<p>本市のニラ農家は市場などに出荷する系統外出荷も多いため、産地としての全体の把握は困難であるが、これまで続けてきた新規就農者(担い手)の確保に引き続き注力するとともに、そぐりセンター活用の推進を行う等の取り組みにより系統集荷を増やし、産地としての一体感を高め、販売額の増加につなげていく。</p>
	<p>7. 中山間地域等直接支払事業</p> <p>目標値 :対象農地面積(7,500a) 10月末実績 :7,073a</p> <p>【実施主体】 各地区の活動組織</p> <p>【連携する分野】 -</p>	<p>【当初】 中山間地域の農業生産条件が不利な地域において、各集落団体による農地保全や営農活動を推進する。また、交付金の加算項目となる「集落戦略の作成」「協定間の連携による広域化活動」等の取組み実現に向けて各団体を支援していく。</p> <p>【10月末までの取り組み状況】 対象農地面積7,073aで補助申請。(8月) 対象農地の協定代表者と現地確認を実施済。</p>	<p>昨年度実績の対象農地面積(7,055a)から今年度対象農地面積(7,073a)は微増した。 また、10月には集落協定の代表者と対象農地の現地確認を実施して、維持管理が不十分と見られた農地については、草刈り等の対応をするように指導を行い、改善した。</p>	<p>令和6年度が活動最終年度(5年目)となるため、既存の集落協定の活動継続や対象農地面積を増加に向けて、集落協定代表者と面談を行った上、計画(案)を作成する。 また、広報等で制度の周知を行い、新規の集落協定の掘り起こしに繋げるほか、R6年度末策定予定の地域計画と連携して各地域の実態を把握し、既存組織の農地面積の拡大を図り、次期対策へとつなげていく。</p>
	<p>8. 多面的機能直接支払事業</p> <p>目標値 :対象農地面積 37,080a 10月末実績 : 26,870a</p> <p>【実施主体】 各地区の活動組織</p> <p>【連携する分野】 -</p>	<p>【当初】 各地区の活動組織に対し、交付金を支払い、農地や農業用水路等の保全と質的向上を図る。 R3 : 再認定1組織(上夜須)、既存組織の対象農地面積拡大</p> <p>【10月末までの取り組み状況】 各地区それぞれ取り組みを行っており、9月末に概算払いにて交付を受けている。</p>	<p>対象農地面積の増加をしてもらうため、各組織へ依頼をしているが、活動人数に限りがあることからさらに対象農地の面積を増やすことが難しい。今後も活動組織向けの研修会などのサポートを継続して行っていく必要がある。</p>	<p>来年度に向けて既存組織内で面積増加に向けて少しでも構成員の増加を図るよう組織に向け呼びかけを行う。</p>



戦略の柱	事業名	R6年度の具体的な取組プラン【P】 R6年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R6年度の数値目標 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R6.11月以降及び次年度)に向けて
経営改善・農地維持 に向けた取り組み <div>   </div>	<b>9. 有害鳥獣被害対策実施事業</b> 目標値 : 駆除数(815頭羽) <b>10月末実績 : 556頭羽</b> 【実施主体】 香南地区猟友会 / 香我美狩猟クラブ 【連携する分野】	<b>【当初】</b> 鳥獣被害の軽減するため、猟期外にも捕獲許可を出し、捕獲体制の強化を図る。捕獲者には報償金を交付する。 <b>【10月末までの取り組み状況】</b> イノシシ:234頭、シカ:188頭、その他(カラス、タヌキ、ハクビシン等):134頭	駆除を行っている香我美狩猟クラブからの情報提供では、今年は香我美町で頻繁にイノシシの目撃情報等が確認されており、農作物への被害件数も多い。R5年は豚熱などの流行もあり個体数が減少していたが今年は豚熱の流行が収まったのか個体数が急増している。野市町、夜須町では香我美町に比べイノシシの目撃情報等が少ないものの、今後、香我美町以外でもイノシシの被害等が急増する可能性もあるため、どういった対応をしていくのが今後の課題と考えられる。	11月15日から猟期に入るため下半期は駆除としての件数は、減るが、引き続き住民からの被害情報や目撃情報等を香南地区猟友会や香我美狩猟クラブと共有し、連携を図ることで有害鳥獣対策を行っていく。
	<b>10. 有害鳥獣被害防止事業</b> 目標値 : 柵の設置距離数(10,000m) <b>10月末実績 : 3248m</b> 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 -	<b>【当初】</b> 有害鳥獣が農地に入らないように、補助金を交付し、防護柵の設置を推進する。 ※ 補助制度について香南市広報掲載や農業者から有害鳥獣による被害があった場合に活用を促す等して周知し、防護柵の設置を推進する。 <b>【10月末までの取り組み状況】</b> 申請件数:18件、申請ベースでの距離数:3,248m うち実績確定件数:14件、設置距離数:2,388m	R5年度は豚熱の影響もあつてイノシシによる被害報告が少なかったのに比べ、今年はイノシシの被害が多くなっているが、申請件数は前年度と乖離ないため、当補助金の周知を行うとともに駆除の依頼や相談があつた際に、当補助金の紹介を行い、申請を促すことで被害対策の強化を図っている。	R5年度に豚熱などでイノシシの被害が減少していたが、今年はイノシシの被害が急増しており相談件数も多くなっているため、引き続き本事業の周知による防除と猟友会等による駆除との両面で有害鳥獣対策を行っていく。
基盤整備・防災への取り組み <div>  </div>	◆ 農業生産基盤の充実にに向けた取り組み			
	<b>1. 耕作条件改善事業</b> 目標値 : 地区数 (3地区) <b>10月末実績 : 3地区</b> 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 -	<b>【当初】</b> 1. 土居・徳王子地区 用水路改修工事(R6.8～着手) 2. 白岩地区 用水路改修工事(R6.8～着手) 3. 須磨地区 事業採択申請提出 <b>【10月末までの取り組み状況】</b> 1. 土居・徳王子地区 計画どおり進行中 2. 白岩地区 計画どおり進行中 3. 須磨地区 事業採択申請 県へ提出済み	土居・徳王子地区:R4年度に実施した測量設計を基に予定どおり工事着手済み。今年度で事業完了となる。 白岩地区:R5年度に実施した測量設計を基に予定どおり工事着手済み。現時点で全体計画の2/3程度が着手済み。昨年度時点では集積計画が白紙となっていたが、無事に担い手が見つかり、耕作についても今年度より着手することができた。 須磨地区:工事計画箇所、集積計画について地元調整が完了したため、県へ採択申請を提出済み。来年度当初に採択決定となる見込み。	土居・徳王子地区:事業完了に向けて引き続き工事の進捗管理を行っていく。 白岩地区:次年度が事業完了年度になるので、工事着手箇所の決定について最終調整を地元推進者と進めていく。 須磨地区:次年度は測量設計委託業務を計画。その後、委託業務の成果に基づき工事を2カ年に渡り実施予定。
	<b>2. 重油流出防止付燃料タンク整備事業</b> 目標値 : 整備数 (20か所) <b>10月末実績 : 2箇所</b> 【実施主体】 JA高知県 香美地区 燃料販売を行う事業者 【連携する分野】 流出防止装置付き燃料タンク等整備計画	<b>【当初】</b> 重油タンク転倒時の流出防止付燃料タンクの整備及びヒートポンプへの変更の実施。 ※市が策定した流出防止装置付き燃料タンク等整備計画に基づくタンク・防油堤の設置及びヒートポンプへの変更を実施する。 <b>【10月末までの取り組み状況】</b> 流出防止装置付タンク…2基 防油堤…2基 ●事業周知 10月21日 JA高知県香美地区ピーマン部会総会 10月22日 JA高知県トマト部会総会 10月29日 JA高知県香美地区花卉部会総会(野市)	タンク及び防油堤の整備が義務付けられているが、災害により既存タンクが転倒し、二次災害がおこるリスクの認識が低いことや、自己負担が発生することで本事業への申請に至っていないケースが多い。また、事業者がタンクを整備する必要があるため、予算や事後管理等も含め、実施主体がJAの場合よりも、民間の燃料販売業者による実施が少ない傾向にある。農業者に災害によるリスクの認識を高めてもらうとともに、燃料販売業者にも事業の必要性を理解してもらうことが課題と言える。	●11月以降の設置 流出防止装置付タンク・防油堤…1か所(タンク2基、防油堤2基) 引き続き、JAや農業振興センターと連携を図り、加温品目の生産者部会等への直接的な事業案内を中心に事業の周知、推進を行っていく。 また、県の事業担当課ともPR方法を検討し、燃料販売業者へアプローチしていく。


令和6年度の取り組み状況 【林業分野】

	R6年度 数値目標	実績値 (10月末実績)	評 価	備 考
間伐面積	51ha	0ha	－	

※ 目標値である「間伐面積」は、間伐面積は「香南市緊急間伐総合支援事業」

■ 取組の総評 （※ 左の数値に対しての総評）

【R6.4月～10月末の取組について】(P・D・C) 保育間伐(夜須町沢谷)及び搬出間伐(香我美町撫川・奥西川、夜須町仲木屋)を実施中
【R6.11月以降(R7年度以降含む)の取組について】(A) 引き続き保育・搬出間伐を実施していく。(事業主体:香美森林組合)
R6年度実績見込み ・保育間伐 4.77ha (夜須町沢谷)見込み ・搬出間伐 85.08ha (香我美町撫川・奥西川、夜須町仲木屋) 見込み
【R7年度】 保育間伐及び搬出間伐(香我美町撫川・舞川・奥西川、夜須町仲木屋)を実施し、森林の持つ公益的機能(水源かん養機能・減災機能・生態系保全機能 等)の維持・増進に繋げる。

戦略の柱	事業名	R6年度の具体的な取組プラン【P】 R6年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R6年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R6.11月以降及び次年度)に向けて
森林環境の保全に向けた取り組み	◆ 森林の管理			
	1. 意向調査の実施	【当初】 森林環境譲与税を活用し、整備されていない森林の所有者に市から調査文書を発送し、自身が保有している森林の今後の管理について、「自身で管理する」又は「市に管理を委ねる」の回答を得る。 R6: 夜須町細川地区・沢谷地区で調査を実施。 R5年度の調査対象地区において回答がなかった及び戸籍等で探索が必要な森林所有者に対して調査を実施する。 野市町内での間伐実施可能な森林の選定、地区の追加。  【10月末までの取り組み状況】 夜須町沢谷地区・細川地区の森林所有者の情報を整理中。	現在、意向調査の発送に向けて準備中である。 R5年度に引き続き、既存の森林経営計画の近隣に位置し、地籍調査未実施である夜須町沢谷に加え、夜須町の地下水量の確保を目的として、夜須川流域の地籍調査実施済みである夜須町細川を選定している。	【R6年度11月以降】 森林所有者への意向調査を発送する。 ・夜須町細川地区(11月末発送済み) ・夜須町沢谷地区(12月発送予定) 地下水量の維持・増進のため、将来的な間伐実施に向けて林業事業体と意見交換をした上で、今後の意向調査実施地区の調整を図る。  【R7年度】 新たに香我美町別役地区・夜須町羽尾地区で調査を実施する。
	目標値 :意向調査の面積(145ha) 10月末実績 :0ha			
	【実施主体】 香南市  【連携する分野】 -  【参考】 意向調査の面積の算定方法と修正の内容 森林簿面積×回答済みの登記簿面積/全体登記簿面積			
◆ 森林境界明確化事業の実施				
	1. 森林管理制度森林境界明確化委託事業	【当初】 R5年度に意向調査を実施した夜須町沢谷地区で約53ha実施予定。  【10月末までの取り組み状況】 事業実施に向けての準備。	R5年度に意向調査を実施した森林の中で、意向調査の回答が無く、現在の所有者が不明な森林が存在するため、所有者特定に向け探索が必要である。	【R6年度11月以降】 11/8に香美森林組合と契約し、夜須町沢谷で事業を実施中。所有者不明の森林があるため、意向調査を再送付し、所有者を特定し、事業に同意をいただく。 R6年度実績見込み 約53ha  【R7年度】 夜須町沢谷で48ha実施予定。
目標値 :森林境界明確化委託業務面積(40ha) 10月末実績 : 0ha				
【実施主体】 香南市 ※連携団体(香美森林組合)  【連携する分野】 -				





戦略の柱	事業名	R6年度の具体的な取組プラン【P】 R6年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R6年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R6.11月以降及び次年度)に向けて
森林環境の保全に向けた取り組み	◆ 間伐事業の実施			
	1. 間伐事業（保育・搬出間伐）  緊急間伐総合支援事業（保育・搬出間伐）  目標値：保育・搬出間伐面積(51ha) (※個人所有地の保育・搬出間伐面積) 10月末実績：0ha  【実施主体】 香美森林組合 【連携する分野】 -	【当初】 「緊急間伐総合支援事業費補助金」を活用し、香美森林組合等が個人所有地の保育・搬出間伐を実施する。  【10月末までの取り組み状況】 保育・搬出間伐を実施中。	保育間伐(夜須町沢谷)及び搬出間伐(香我美町撫川・奥西川、夜須町仲木屋)を実施中。 ※実績値を市補助金(県造林補助金の上乗せ補助であり、事後申請になる。)の申請面積で集計しており、県補助申請が12月末時点の実績で取りまとめるため、令和6年度の実績としては、R6年1月～12月の間伐実施面積となる。 事後申請であることから、12月末時点で間伐途中の森林があった場合は、途中までの実績で精算せずにその森林所有者の森林の間伐が全て完了してから、次年度に申請するため、実績が当初の目標値を満たせない場合がある。 ※R4年度までは香南市における香美森林組合の施業班は1班体制で実施していたが、R5～R6年度については3班体制で実施中であり、補助金申請の時期の関係で、R5年度実績に計上できなかったものはR6年度に計上できる見込みである。	【R6年度11月以降】 引き続き事業を実施していく。 R6年度実績見込み ・保育間伐 4.77ha（夜須町沢谷）見込み ・搬出間伐 85.08ha（香我美町撫川・奥西川、夜須町仲木屋）見込み  【R7年度】 保育間伐及び搬出間伐(香我美町撫川・舞川・奥西川、夜須町仲木屋)を実施し、森林の持つ公益的機能(水源かん養機能・減災機能・生態系保全機能 等)の維持・増進に繋げる。
啓発・普及への取り組み	◆ 山や森林に親しむ機会の提供			
	1. 木育事業 ①木育イベントの開催 ②保・幼・小・中学校での森林体験学習の実施 ③市主催以外の木育・林業関連のイベントの周知 ④香南市の森からの贈り物事業 ⑤市内の小・中学校に香南市材を活用した木製のおもちゃを贈呈  目標値：木育事業実施回数(13回) 10月末実績：8回 (事業内訳：① 0回、② 6回、③ 1回 ④ 1回、⑤ 0回)  【実施主体】 香南市  ※連携団体 高知県森と緑の会 香南市支部 香南市教育委員会 香美森林組合 地域の有識者 香南ケーブルテレビ 等  【連携する分野】-	【当初】 図書館等で子どもたちを対象とした木育イベントの開催する。 また、市内の保育園や幼稚園、小・中学校の授業や行事での森林体験学習を実施する。  【10月末までの取り組み状況】  ① 木育イベントの開催(0回) 11・12月の実施に向けての準備  ② 保・幼・小・中学校等での森林体験学習の実施(6回) 5/15 香我美おれんじ保育所(万華鏡づくり) 6/5 赤岡保育所(万華鏡づくり) 7/25 夜須はーと児童くらぶ(竹コマ・万華鏡づくり) 9/4 吉川みどり保育所(竹コマ・ラワンの種飛ばし) 10/23 赤岡小学校(バードカービング) 10/25 吉川小学校(竹コマ・ラワンの種飛ばし)  ③ 市主催以外の木育・林業関連のイベントの周知(1回) 香南ケーブルTVと連携して放送中の番組「木育Baby」により、「香南市の森からの贈り物事業」を周知した。 (R6年度出演者5名) 農林水産課窓口に木育関係のイベントのチラシを随時設置。  ④ 香南市の森からの贈り物事業(1回) 市内の乳児17名に木製玩具を贈呈済。(97名分発注済) ※出生届提出月の翌月に案内文書を送付(9/30まで)。 ※10/1より案内は市民保険課窓口(出生届時)にて行う。 ※申請は出生日から起算し、市内出生者は1年間、転入者は2年1カ月間有効。  ⑤ 市内の小・中学校に県産材を活用した木製のおもちゃを贈呈(0回) 贈呈に向けて調整中。	① 木育イベントの開催 ファーストスプーンの実施に向けて調整中。  ② 保・幼・小・中学校等での森林体験学習の実施 年度当初に所属長会でR6年度の事業について周知し、昨年度に引き続き、実施したいという要望があった。個別に相談し、保育所や幼稚園の都合も踏まえ、随時実施中。 また、児童クラブ等のその他の施設でも実施及び実施に向け調整中。 屋外(冒険の森等)での実施については、要望が無く未実施となった。  ③ 木育事業全般に係る周知活動 香南ケーブルTVの「木育Baby」の放送により、「香南市の森からの贈り物事業」の周知ができた。  ④ 香南市の森からの贈り物事業 申請者割合を100%に近づけるため、周知活動の強化、申請方法の簡素化に向けて調整が必要。  ⑤ 市内の小・中学校に県産材を活用した木製備品を贈呈 各学校からの要望を取りまとめ、木製備品贈呈に向け調整中。	① 木育イベントの開催 【R6.11月以降】 11/9(AM) ファーストスプーン 実施済み 11/9(PM) ファーストスプーン 実施済み 【R7年度】 引き続き、ファーストスプーンや木工教室等を開催する。  ② 保・幼・小・中学校での森林体験学習の実施 【R6.11月以降】 ☆農林水産課実施分 12/12 森田村塾(コマ・けん玉・ラワン種飛ばし、バードコール) 1・2月中 野市東保育所(卒業記念品製作予定) ☆学校教育課実施分 11/7 野市小学校1年生(万華鏡づくり) 11/13 野市小学校2年生(甫喜ヶ峰での体験学習)  1・2月 野市小学校1年生(木の実クラフト)予定 1・2月 野市小学校2年生(木工クラフト体験)予定 学校教育課と連携し、小・中学校の年間計画作成時点でのR6年度事業の要望の掘り起しを実施。 【R7年度】 所属長会での周知及び各保・幼・小・中学校に個別で事業提案し、実施に向けて調整する。  ③ 木育事業全般に係る周知活動 【R6.11月以降】 香南ケーブルTVと連携した「木育Baby」の放送や農林水産課窓口にイベントのチラシを随時設置する等して引き続き、木育関連の事業を周知していく。 【R7年度】 引き続き、「木育Baby」の放送、窓口でのイベントチラシの設置を継続して行いながら、新たな周知方法を模索し、検討していく。  ④ 香南市の森からの贈り物事業 【R6.11月以降】 子育て支援センター及び各支所に事業のポスターを設置及び市HPやSNSを活用し、未申請者に対して周知する。 【R7年度】 引き続き、市の広報や香南ケーブルTVと連携して放送している「木育Baby」により、事業を周知していく。  ⑤ 市内の小・中学校に県産材を活用した木製備品を贈呈 【R6.11月以降】 香我美小に木製備品(本棚)を贈呈予定。 【R7年度】 引き続き、小・中学校に要望を募り、木製備品を贈呈する。



令和6年度の取り組み状況 【水産業分野】




	R6年度 数値目標	実績値 (10月末実績)	評 価	備 考
沿岸漁業 総生産額	305百万円	192百万円 (前年同月比:121%)	-	

※高知県漁協(手結・赤岡・吉川)及び漁協水揚げデータに反映されない法人経営体の生産額。

■ 取組の総評 （※ 左の数値に対しての総評）

【R6.4月～10月末の取組について】(P・D・C) ・沿岸漁業総生産額については、昨年10月末と比較してシイラの生産額が増加しているため全体として増加している結果となっている。 ・シイラの平均kg単価は昨年と比較すると、約71%となるが、好漁であったため生産額は増加している。  【R6.11月以降(R6年度以降含む)の取組について】(A) ・11月以降はイワシシラスの最盛期になってくるので、今後の動向を注視していく。
--

戦略の柱	事業名	R6年度の具体的な取組プラン【P】 R6年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R6年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R6.11月以降及び次年度)に向けて
地産の強化	◆ 生産基盤の充実			
	1. 水産機能施設の整備	【当初】 R6 ①吉川漁港ホイストクレーン改修 ②吉川漁港梯子設置工事 ③吉川漁船修理場シャッター改修 ④赤岡漁港グレーチング改修	①～④については、順調に取り組み遂行できた。しかしながら、ホイストクレーン改修実施設計の発注に時間を要したことにより、ホイストクレーン改修が漁期と重なるため、早期の発注を目指していきたい。	計画している工事はほぼ完成しており、R6.11月以降はホイストクレーン改修工事を発注して完成を目指す。 水産機能施設の整備は、次期計画からは外すが、今後も各支所の状況を継続してヒアリングし、高知県漁協及び漁業者と連携し適切な維持管理に努める。
	目標値：整備件数(4件) 10月末実績： 3件  【実施主体】 香南市・高知県漁業協同組合  【連携する分野】 -	【10月末までの取り組み状況】 ①・吉川漁港ホイストクレーン改修実施設計 完了 ・吉川漁港ホイストクレーン改修工事 準備中 ②吉川漁港梯子設置工事 契約済 ③吉川漁船修理場シャッター改修 契約済 ④赤岡漁港グレーチング改修 完成		
	2. 漁港施設の整備	【当初】 【水産基盤ストックマネジメント事業(長寿命化)】 夜須:住吉漁港 西防波堤 吉川:吉川漁港 -2.0m、-3.0m泊地浚渫	台風時期を避けて発注する。吉川漁港の浚渫は10月に発注をしたが、不調となったため12月契約となった。	水産基盤ストックマネジメント事業は計画通りに実施できており、今後も計画的に事業を実施する。 水産機能施設の整備同様次期計画から外すが、漁業関係者が安全に安心して漁業活動ができるよう事業を実施していく。
目標値：水産物供給基盤機能保全事業 保全計画 整備率(86%) (9.5/11施設) 10月末実績 :89% (9.8/11施設)  【実施主体】 香南市 【連携する分野】 -	【10月末までの取り組み状況】 夜須:住吉漁港 西防波堤 11月契約済 吉川:吉川漁港 -2.0m、-3.0m泊地浚渫 12月契約済			

戦略の柱	事業名	R6年度の具体的な取組プラン【P】 R6年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】																																											
	R6年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R6.11月以降及び次年度)に向けて																																											
<div>地産の強化</div> <div><div>2</div><div>県産を ゼロに</div><div></div></div>	◆ 漁業者の生産性の向上																																														
	1. 沿岸漁業設備投資促進事業  目標値： 漁船導入事業件数(1件) 10月末実績：1件  【実施主体】 漁業者・漁業就業支援センター (漁協・高知県・香南市)  【連携する分野】 -	【当初】 漁船導入事業(漁船リースへの支援)  【10月末までの取り組み状況】 1件 交付決定済 令和5年度からの繰越。	令和5年度に交付決定済で、機器類等の納品に時間を要したため、令和6年度へ繰越を行っており、現在、事業は完了している。	漁船導入事業は、一般社団法人 高知県漁業就業支援センター及び希望漁業者と綿密に協議し、事業実施に向けた調整を継続していく。																																											
<div>流通・販売の強化</div> <div><div>2</div><div>県産を ゼロに</div><div></div></div> <div><div>8</div><div>働きがいも 経済成長も</div><div></div></div>	◆ 市内水産物の認知度向上(ブランド化)																																														
	1. 市内水産物の魚価向上  【目標値】 (シイラ) 【平均kg単価(円/kg)】 (イワシシラス) 【平均kg単価(円/kg)】  10月末実績 (シイラ) 【平均kg単価(円/kg)】 ・・・前年同月比 70.8% (イワシシラス) 【平均kg単価(円/kg)】 ・・・前年同月比 77.5%  【実施主体】 高知県漁業協同組合 香南市観光協会 香南市商工会 シラス加工業者 漁業者 行政(高知県・香南市)  【連携する分野】 観光分野、商業分野	【当初】 他分野との連携による市内水産物(シラス・シイラ)の利活用(観光協会等と連携) ① 地元産水産物の利用状況アンケートの実施・集計 ② 未使用店舗への利用促進 ⇒ 地元からのPR強化 【市・観光協会等】 ③ 水産物のPRパンフレットや地元水産物使用飲食店マップの作成 【水産業関係者と連携可能な事業所とのマッチング】 ④ 漁協等と事業所のマッチングによる新商品の開発・販売  【10月末までの取り組み状況】 <table><tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">年度</th><th>シイラ</th><th colspan="3">イワシシラス</th></tr><tr><th>手結</th><th>赤岡</th><th>吉川</th><th>合計</th></tr><tr><td rowspan="2">生産量(kg)</td><td>R5.10末</td><td>112,614</td><td>37,156</td><td>47,519</td><td>84,675</td></tr><tr><td>R6.10末</td><td>469,654</td><td>41,364</td><td>60,646</td><td>102,010</td></tr><tr><td rowspan="2">生産額(円)</td><td>R5.10末</td><td>28,509,431</td><td>41,939,020</td><td>47,790,450</td><td>89,729,470</td></tr><tr><td>R6.10末</td><td>83,854,422</td><td>39,736,680</td><td>43,986,200</td><td>83,722,880</td></tr><tr><td rowspan="2">平均単価(円/kg)</td><td>R5.10末</td><td>253</td><td>1129</td><td>1006</td><td>1060</td></tr><tr><td>R6.10末</td><td>179</td><td>961</td><td>725</td><td>821</td></tr></table> シイラの巻き網漁のみ		年度	シイラ	イワシシラス			手結	赤岡	吉川	合計	生産量(kg)	R5.10末	112,614	37,156	47,519	84,675	R6.10末	469,654	41,364	60,646	102,010	生産額(円)	R5.10末	28,509,431	41,939,020	47,790,450	89,729,470	R6.10末	83,854,422	39,736,680	43,986,200	83,722,880	平均単価(円/kg)	R5.10末	253	1129	1006	1060	R6.10末	179	961	725	821	(シイラ) 生産量は前年同月比417%となっており、kg単価は前年同月比70.8%となっている。 昨年度と比較して単価は70.8%となったが、生産量が417%と好漁であり生産額も294%となっている。  (イワシシラス) 生産量は前年同月比120.1%となっており、kg単価は前年同月比77.5%となっている。 昨年度と比較して単価は77.5%となったが、生産量は120.1%と前年を上回っている。生産額は93.3%微減となっている。	地元飲食店での利用促進し、香南市産水産物を全国に向けてPRし認知度を向上することにより、魚価を向上させる。
		年度			シイラ	イワシシラス																																									
手結			赤岡	吉川	合計																																										
生産量(kg)	R5.10末	112,614	37,156	47,519	84,675																																										
	R6.10末	469,654	41,364	60,646	102,010																																										
生産額(円)	R5.10末	28,509,431	41,939,020	47,790,450	89,729,470																																										
	R6.10末	83,854,422	39,736,680	43,986,200	83,722,880																																										
平均単価(円/kg)	R5.10末	253	1129	1006	1060																																										
	R6.10末	179	961	725	821																																										
2. 高知県漁協手結支所の販売額 (県内外の取引先との取引継続)  目標値： 販売額(5,500万円) 10月末実績：12万円(前年同月比:7%)  【実施主体】 高知県漁業協同組合 手結支所(高知県・香南市)  【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.10 シイラ等の水産物加工による外商の拡大 →R5年度末で終了	【当初】 【県漁協手結支所販売事業の支援】 凍結機器の導入も支援しており、最終販売者に対して何の支援が必要か聞き取り等を漁協において実施し販売額の維持・拡大を図る。  【R6.10月末までの取り組み状況】 仲卸業者への冷凍フィレ出荷の増 R2 294千円→R3 1,583千円→R4 3,500千円→ R5 2,147千円→R6 124千円(R6.10月末)	シイラが好漁で水揚げが多く加工する時間がなく、フィレの出荷へ手が回らない状況であったため、販売額が減となった。	パートや短期の就業者など、人を増やすなどして対応することも考えたが、好漁であるかもその時にまで分からないし、また特に衛生管理の高度化により、人を増やすことによる人選が難しい。																																												



戦略の柱	事業名	R6年度の具体的な取組プラン【P】 R6年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R6年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R6.11月以降及び次年度)に向けて
流通・販売の強化 <div><div>2</div><div>凱歌を ゼロに</div><div></div></div>	3.シラス加工品販売額	【当初】 今後取り組んでいく課題の整理。どのような支援が必要かを聞き取り、販売額の維持・拡大を図る。	第1回部会で、加工業者の件数が少ないことから販売額が分かってしまうため、数値目標の設定はしないこととした。	目標値は設定しないが、加工業者を訪問し、実情をヒアリングすることにより、今後取り組んでいかなければならない課題などを整理していく。
	目標値：設定なし	【10月末までの取り組み状況】		
	【実施主体】 シラス加工業者 (高知県・香南市)			
	【連携する分野】 -			
	◆ 学校給食等への納入			
1-1. 学校給食等への納入 (かちりじゃこ)	【当初】 市内水産物(かちりじゃこ)の給食センターへの納入促進 昨年度作成した食育をメインとした映像等で市内漁業の紹介ができる教材を使用してPR活動を行う。	和え物等の複数の献立に使用されることもあり、計画通り進んでいる。 R6.9月から赤岡・吉川給食センターがこうなん給食センターに統合となったため、納入回数実績が達成できない可能性がある。	教育委員会(給食センター)と連携し引き続き納入していく。 今後も食育等を通じて、市内漁業及び水産業をPRしていく。	
	目標値：納入回数(60回) 10月末実績:44回			
	【実施主体】 市内加工業者 香南市 (地産地消推進協議会・給食センター等)			
	【連携する分野】 -			
	1-2. 学校給食等への納入 (シイラ)	【当初】 市内水産物(シイラ)の給食センターへの納入継続 昨年度作成した食育をメインとした映像等で市内漁業の紹介ができる教材を使用してPR活動を行う。		栄養面や献立によっては、使用できない月もあるが、定期的に納入できるよう働きかけていく。 R6.9月から赤岡・吉川給食センターがこうなん給食センターに統合となったため、納入回数実績が達成できない可能性がある。
目標値：納入回数(24回) 10月末実績:12回	【10月末までの取り組み状況】 こうなん 6回 赤岡・吉川 6回			
【実施主体】 高知県漁業協同組合 手結支所 香南市 (地産地消推進協議会・給食センター等)				
【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.10 シイラ等の水産物加工による外商の拡大				
◆ (一社)高知県漁業就業支援センターとの連携による担い手確保				
担い手の確保 <div><div>8</div><div>働きがいの 経済成長も</div><div></div></div>	1. 担い手の確保事業 (自営漁業者育成事業) (漁家子弟支援事業) (雇用型漁業支援事業)	【当初】 市内漁業形態では1人での操業が厳しい状況であることから、雇用型・漁家子弟での確保を目指す。	市内漁業形態では1人での操業が厳しい状況であり、「雇用型」「漁家子弟」での担い手確保を目指している。	今年度は、R5.12月から「雇用型」での新規漁業就業者支援事業を活用している1名の状況で、新規はいない。 今後も(一社)高知県漁業就業支援センターとの連携により、就業希望者へ広く周知していく。
	目標値：就業人数(1人) 10月末実績:0人	【10月末までの取り組み状況】 R5.12月から「雇用型」でR6.11月まで支援を行う。 (一社)高知県漁業就業支援センターと連携し、フェア等に参加している。		
	【実施主体】 香南市 (一社)高知県漁業就業支援センター 高知県漁業協同組合・漁業者			
【連携する分野】 農業分野、林業分野、住宅分野				

令和6年度の取り組み状況【商業分野】

	R6年度 数値目標	実績値 (10月末実績)	評 価	備 考
商業者数 (事業所)	758事業所	-	-	
新規事務系企業数 (企業/年)	2社	0社	-	

※ 商業者数は、香南市商工会が毎年高知県へ報告している日本標準産業分類(大分類)のF～O・Q・Rに分類される事業所数。  
H30年の基準値813事業者から年間の創業者数が廃業者数を上回るように目標数値を設定

※ 新規事務系企業数は、香南市内の空き店舗等を活用し、市内住民を雇用することを前提に、首都圏等から進出していただく新規事務系企業数。

■ 取組の総評 （※ 左の数値に対しての総評）

**【R6.4月～10月末の取組について】(P・D・C)**  
商業者数は、年度末以降に公表が行われるため、評価は示していない。新規事務系企業については、現時点で見込みなし。  
空き店舗活用に向けた取組としては、昨年度に引き続き、「香南市中心市街地活性化計画」に基づいた取組を推進しているが、参画事業者の拡大等、実行体制の強化が依然として課題。空き店舗等対策事業費補助金は、商工会とも連携した事業周知に努め、現時点で3件の交付申請見込に繋がっている(10月時点:1件の実績報告済)。また、市内不動産会社が所有している物件情報を集約し、市HPを介した空き店舗情報の発信にも継続して取り組んでいる。  
担い手確保に向けた取組としては、HPや広報等を通した事業紹介を実施。創業支援計画の認定件数は0件であるが、10月末時点において、相談窓口への相談を介した新規創業は3件あった。  
商業支援の取組としては、カタログギフト・ふるさと納税事業に取り組むことで、地元事業者の売上及び販路拡大を図るほか、今年度は「香南市くらし応援クーポン」事業を実施し、物価高騰対策と合わせて、市内の消費喚起に繋がるよう取り組んでいる。

**【R6.11月以降(R7年度以降含む)の取組について】(A)**  
空き店舗活用に向けた取組については、地域事業者及び関係機関と連携しながら「香南市中心市街地活性化計画」の取組を推進していくほか、活用可能な空き店舗情報の集約に努める。  
担い手確保に向けた取組については、市HPや広報誌等も活用しながら、各種支援策の周知に努めるとともに、事業承継に関する補助制度の新設に向けて準備を進めていく。  
商業支援の取組については、現在実施している取組を継続するとともに、デジタル化に取り組む事業者を支援できる制度を新設し、市内事業者の生産性向上、売上拡大を図っていく。

戦略の柱	事業名	R6年度の具体的な取組プラン【P】 R6年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R6年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R6.11月以降及び次年度)に向けて
空き店舗活用に向けた取り組み	◆ 空き店舗対策			
	1. 商店街等振興計画の策定	【当初】 開催内容の磨き上げ、実行体制の強化を図りながら、地域事業者を主体として、地域商業の活性化に繋げていけるよう、取組を推進していく。  【10月末までの取り組み状況】 ・計画に基づくイベントの開催状況 ＜B:回遊の仕組みづくり班＞ 8/28～9/30:スイーツスタンプラリーの開催 10月上旬:抽選会→11月末:景品交換期間 ＜C:中心エリアの魅力向上班＞ フジグラン野市での「マルシェこうなん」の出店 ➡10/14:「健康フェスタ」と合わせて出店 ・中心市街地活性化計画推進事業費補助金の執行(7/28付け交付決定)	4月以降、各グループに分かれた取組内容の検討を実施。商工会や行政も含めて協議を進め、2つの取組を実施している。 ※県補助金に上乘せる形で、市補助金も1件分交付決定済（中心エリアの魅力向上班は補助金活用なし） 計画策定後におけるこれまでの取組も踏まえ、今後の取組方針・内容の検討や精査が必要。	11/22第1回→12/26第2回開催予定である中心市街地活性化協議会ワーキンググループにて、今後の取組内容(案)の検討を行ったうえ、年度内に開催する中心市街地活性化協議会での報告→計画の一部改訂を予定。 次年度以降においても、地域事業者を主体として、地域商業の活性化に繋げていけるよう、実行体制の強化を図りながら、取組を推進していく。
	目標値:計画に基づくイベント開催数 3回 10月末実績：2回			
	【実施主体】 香南市 / 香南市商工会 / 地域商業者			
	【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.7 香南市中心市街地の振興			
<div>8 働きがいも経済成長も</div> <div>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</div>	2. 空き店舗実態調査の実施	調査完了に伴い、終了とする。		
	目標値：調査終了により設定なし			
	【実施主体】 香南市 / 香南市商工会			
	【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.7 香南市中心市街地の振興			



戦略の柱	事業名	R6年度の具体的な取組プラン【P】 R6年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R6年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R6.11月以降及び次年度)に向けて
<div>空き店舗活用に向けた取り組み</div> <div> <div>8</div> <div>働きがいも経済成長も</div> <div></div> </div> <div> <div>9</div> <div>産業と技術革新の基盤をつくろう</div> <div></div> </div>	<b>3. 空き店舗バンク事業</b> <b>目標値</b> :登録件数 20件 ※延べ <b>10月末実績</b> : 8件 <b>【実施主体】</b> 香南市 / 香南市商工会 <b>【連携する分野】</b> 県 物部川アクションプラン NO.7 香南市中心市街地の振興	<b>【当初】</b> 空き店舗及び物件情報を共有し、市HPで発信するとともに、四半期に一回程度の更新を行う。 <b>【10月末までの取り組み状況】</b> 主に市内不動産会社が所有している空き店舗物件情報について集約を行い、市HPへの掲載を実施。	市内不動産会社への聞き取り等を適宜行い、10月末時点の市HPへの掲載物件数は8件となっている。 空き店舗物件の紹介を求められる相談者もいるため、掲載件数の増を図るとともに、商工会等とも連携して情報発信できる体制を整える必要がある。	市内不動産会社等に対して本取組への協力を依頼し、掲載物件数の増を図る。 商工会HPにもリンク先を掲載する等、情報提供の場の拡充を図ることで、空き店舗を探している方々とのマッチングに繋がるよう努めていく。 ※「空き店舗バンク」という形態ではなく、市内不動産会社が所有している情報の提供場所を増やすことで、より効果的に空き店舗の有効活用へ繋げることを狙いとして取り組んでいく。
	<b>4. 空き店舗等対策事業(空き店舗等対策事業費補助金)</b> <b>目標値</b> :補助金利用件数 2件 <b>10月末実績</b> : 1件 <b>【実施主体】</b> 香南市 / 香南市商工会 <b>【連携する分野】</b> 県 物部川アクションプラン NO.7 香南市中心市街地の振興	<b>【当初】</b> 支援策の周知に努めるとともに、市商工会等と連携し、創業時の経営計画策定や手順等について支援を行い、空き店舗を活用した創業につなげる。 <b>【10月末までの取り組み状況】</b> ・市HPでの情報発信 ・補助金に関する問い合わせ:6件 ・補助金活用による新規創業:1件	補助金活用による新規創業の実績は10月末時点で1件であるが、11月中に2件の交付申請見込みあり。 補助金を活用できる対象物件を増やせるよう、空き店舗情報の集約に努めていく必要がある。	今後も、市商工会等とも連携して空き店舗情報の発信を行うとともに、支援策の周知に努めていく。
	<b>6. 空き店舗等を活用した新規事務系企業の誘致</b> <b>目標値</b> :誘致企業数 2件 <b>10月末実績</b> : 0件 <b>【実施主体】</b> 香南市 <b>【連携する分野】</b> 県 物部川アクションプラン NO.7 香南市中心市街地の振興	<b>【当初】</b> オンライン会議と企業訪問により、継続した企業誘致活動を展開するとともに、立地企業が行う人材募集等に関して支援(市HPや広報誌への情報掲載等)を実施する。 <b>【10月末までの取り組み状況】</b> ・立地企業との面談	今年度、現時点では地方進出を検討されている企業との面談等は実施できていない。 昨今は、コロナ禍以降のテレワーク推進などにより、新たなワークスタイルが確立され、オフィス開設を見送る企業も多くなってきたため、包括連携協定を締結しているイシン株式会社とも連携して、今後の取組方針等を再度検討していく必要がある。	市内空き店舗情報の集約に努め、紹介できる物件の充実を図りながら、継続した企業誘致活動を実施するとともに、今後の取組の展開等を再検討していく。
<div>担い手確保に向けた取り組み</div>	◆ 担い手の確保・育成			
	<b>1. 事業承継の推進</b> <b>目標値</b> :事業継承事業者数 6者 <b>10月末実績</b> : 4者 <b>【実施主体】</b> 香南市 / 香南市商工会 <b>【連携する分野】</b> 工業分野、観光分野 県 物部川アクションプラン NO.7 香南市中心市街地の振興	<b>【当初】</b> 市広報誌等による定期的な情報発信 商工会や事業承継・引継ぎ支援センターとの連携 事業承継に係る支援制度創設について検討していく。 <b>【10月末までの取り組み状況】</b> ・事業承継・引継ぎ支援センター等に関する情報を市広報誌に掲載(7月) ・市商工会による事業承継ヒアリング件数 1件 ※ ヒアリング内容:後継者の有無・承継に向けた準備の有無・相談相手の有無 等 ・事業承継・引継ぎ支援センターへの相談件数(香南市分): 6件	事業承継について、市へ直接相談に来られるケースはほとんどない状況が続いている。 今後も、商工会や事業承継・引継ぎ支援センターとも連携して、支援に対する潜在的なニーズ等を把握していくことが必要である。	今後も継続して、事業承継に関する情報を市広報誌等を活用して発信することで、事業承継の取組に対する意識向上を図っていく。 また、R7年度に創設予定である「事業承継等推進事業費補助金」(高知県事業承継等推進事業費補助金と合わせた支援)の要綱制定等の準備を進めるとともに、事業承継の推進に向けた効果的な取組内容を、商工会や事業承継・引継ぎ支援センターとも連携しながら検討していく。

戦略の柱	事業名	R6年度の具体的な取組プラン【P】 R6年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R6年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R6.11月以降及び次年度)に向けて
担い手確保に 向けた取り組み	2-1. 香南市未来人材育成奨学金返還助成事業 (香南市未来人材育成奨学金返還助成事業費補助金)	【当初】 人材の確保と市への定着を図る事を目的に、市内に事業所等を有する事業主に雇用され、又は本市において起業する方を対象に、借り入れた奨学金の一部を助成する。 (返還奨学金の1/2又は就労期間に10,000円を乗じた額のいずれか少ない額 ※最長8年間) 企業訪問や市広報誌+周知媒体を増やし事業の周知を行い利用件数の増加を図る。 城山高校の2年生を対象とした合同企業説明会で学生向けの周知も行うとともに、他分野と連携しより効果的な周知を行う。 【10月末までの取り組み状況】 ・香南市広報7月号掲載 ・香我美町立地企業交流会及びものづくり会での案内 ・補助金交付済 5件(R3年度認定1件、R4年度認定1件、R5年度認定 3件) ・新規認定 1件 (R6年度認定)	HPや広報誌への掲載等を継続し行い、今年度については1名の新規認定に繋がっている。 新規認定者数の増加を図るため、昨年度に続き香我美町立地企業交流会及びものづくり会の際に奨学生を雇用する市内のものづくり企業へ事業について周知を行ったが、新規認定者の増加には現時点では繋がっていない。 奨学生への周知を行いつつ、事業者へも周知を行い、幅広く事業について認知してもらう必要がある。	イベント開催時等にも積極的に事業の周知をおこない、少しでも多くの事業者や奨学生に知ってもらえるよう活動を行う。 市のSNS(LINE・Facebook等)も活用し、若い世代への事業について周知をより効率的におこなう。 申請対象者が簡単に情報を取得できるよう、転入手続きの際に事業についての案内チラシを配布するなど、他課とも連携した事業周知の方法を検討していく。
	目標値 :利用件数 5件 10月末実績：1件			
	【実施主体】 香南市	必要に応じて適宜関係機関等との連携はとるが、本計画の項目からは外す。		
	【連携する分野】 商業分野、観光分野			
	2-2.人材ニーズの掘り起こし及び発信			
	目標値 :設定なし	必要に応じて適宜関係機関等との連携はとるが、本計画の項目からは外す。		
	【実施主体】 香南市			
	【連携する分野】 農業、林業、水産業、工業、観光分野、移住	【当初】 創業時に必要な経営・財務・人材育成・販路開拓に関する基礎等を習得し、持続可能な経営を行っていくための1ツールとして、商工会とも連携しながら創業希望者への周知を図っていく。 【10月末までの取り組み状況】 ・市HPでの情報発信 ・市窓口における創業相談件数 6件(=空き店舗補助金に対する問合せ件数) ・計画に基づく認定件数 0件	新規創業者(商工会等で事前相談があった後に創業された方)は3名いるが、いずれも創業支援等事業計画に基づく認定は受けていない。 計画に基づく認定を受けるメリットが大きくないことも要因の一つと考えられるが、創業の相談があった際の紹介等を通して、今後も制度の周知に努めていく必要がある。	創業者にとって、創業時に必要な経営・財務・人材育成・販路開拓に関する基礎等を習得し、持続可能な経営を行っていくための1つのツールとして、創業希望者への周知を図っていく。
	3. 創業支援事業計画			
	目標値 :創業者数 6人 10月末実績：3人	【当初】 市内金融機関から創業向け融資を受けた創業者が支払った利子のうち年利1%に相当する額を補給する(補給対象期間は償還開始日から2年間で1事業者につき年間10万円を上限)。 商工会や金融機関等と連携し、本補給金事業の周知を図り創業時の経済的負担の軽減を図る。 【10月末までの取り組み状況】 ・市HPでの情報発信 ・利用件数 0件	申請の受付が令和7年1月となっているため、申請件数は0件となっている(10月末時点:5件の利用見込みあり)。 左記の取組以外にも、創業に係る支援策の問い合わせがあった際には、その都度、制度の紹介を行っている。	引き続き、商工会や金融機関と連携し、制度の活用を促すとともに、創業予定の方、興味を持っている方に対して、幅広く周知できるような取組を行っていく。
	4. 創業支援利子補給金事業			
	目標値 :利用件数 3件 10月末実績：0件			
	【実施主体】 香南市			
	【連携する分野】 - 工業分野、観光分野			





戦略の柱	事業名	R6年度の具体的な取組プラン【P】 R6年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R6年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R6.11月以降及び次年度)に向けて
<div>商業支援</div> <div><div>8</div><div>働きがいも 経済成長も</div><div></div></div>	◆ 商業支援			
	1. 中小企業者等保証料給付金事業	【当初】 市内中小企業者が、対象となる県融資を受けた場合、融資に必要な信用保証を行う県信用保証協会に対して、補給金を補給する。 商工会や金融機関等と連携し、必要としている事業者者に周知を図る。  【10月末までの取り組み状況】 ・高知県信用保証協会との契約締結(4/1) ・新規利用件数(利用認定のみ) 2件 ・補給金補給件数(昨年度認定分含む) 5件 ・セーフティネット保証認定 9件 (うち4号:7件、5号:2件)	「緊急融資保証料補給金事業」として取り組んでいたものを、R4年度に対象要件の緩和等を行い、実施している事業であるが、市内事業者における対象融資の活用件数自体が少なく、本事業の利用件数も伸びない状況が続いている。	引き続き、市商工会や金融機関等とも連携して、より多くの事業者への周知を図っていく。 ※新規認定自体は、今年度末で終了を予定(これまでの認定者に対する保証料補給は継続)
	元 緊急融資保証料補給金事業 目標値 :新規利用件数 10件 10月末実績 : 2件  【実施主体】 香南市 / 高知県信用保証協会  【連携する分野】 工業分野、観光分野			
	2. 各種セミナーの開催	【当初】 今後も事業者のニーズや時代に合わせたセミナーの開催を検討していく。  【10月末までの取り組み状況】 ※10月末までは開催なし	今年度は、セミナーの開催をできていない状況である。 今後も、事業者を取り巻く現況の把握、事業者ニーズの把握に努めていく必要がある。	12/6:商工会主催にて、「DX・デジタル化セミナー」を開催(23名の参加者あり)。 今後も、事業者のニーズや時代に合わせたセミナーの開催を検討していく。
	目標値 :開催数 2回 10月末実績 : 0回  【実施主体】 香南市/香南市商工会  【連携する分野】 工業分野、観光分野			
3. 香南カーニバル事業	【当初】 —  【10月末までの取り組み状況】 —	令和6年10～11月の2ヵ月間利用できる「香南市くらし応援クーポン」事業を実施。物価高騰対策と合わせて、市内の消費喚起に繋がるよう取り組んでいる。	市内事業者の経営状況の把握に努め、必要に応じて、商工会と検討を行う。	
目標値 :検討 10月末実績 : —  【実施主体】 香南市商工会 / 地域事業者  【連携する分野】 農業分野、水産業分野、観光分野				
4. 地場産品販売促進事業 【カタログ販売額+ふるさと応援寄付金事業	【当初】 今後も、イベント等でのPRを継続して実施していくとともに、ECサイトにおいては、季節商品を掲載する等、引き続き内容の拡充を図っていくことで、地元事業者の売り上げ増を目指す。  【10月末までの取り組み状況】 ・新たな事業者開拓 ふるさと:新規参加事業者(17社)、新商品(306商品) ・イベント等への出店や資料発送による、特産品、カタログやふるさと応援寄附のPR ・ふるさと納税:掲載ポータルサイト 社追加	ギフトカタログについては、各種イベントでの物販やカタログ配送によるPRのほか、季節商品の取扱い等によるECサイトの内容拡充にも取り組んでおり、昨年同時期と比較して120%の売上となっている。 ふるさと納税については、既に参画されている事業者のみでなく、新規開拓に向けた市内事業者の個別訪問にも注力するほか、コンサル業者とも連携した返礼品の開発にも取り組むことで、事業者数及び返礼品数ともに、増に繋がっている。 売上に関しては、昨年度は10月の制度改正に伴う駆け込み需要が9月末にあったことから、同時期と比較すると、82%の売上とはなっているが、参画事業者・返礼品の新規開拓、各ポータルサイトにおけるページの訴求力向上に向けた取組を積極的に実施することで、全体的には増加傾向で推移している。	今後も、イベント等でのPRを継続して実施していくとともに、ECサイトの内容拡充やふるさと納税関係事業者へのサポート等に努め、地元事業者の売上増を目指す。	
目標値 : 事業者売上額(130,200千円) 10月末実績 : 44,538千円 ○ギフトカタログ売上 5,340千円 ○ふるさと応援寄附金売上 39,198千円  【実施主体】 香南市観光協会 / 香南市  【連携する分野】 農業分野、水産業分野、観光分野				

戦略の柱	事業名	R6年度の具体的な取組プラン【P】 R6年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R6年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R6.11月以降及び次年度)に向けて
商業支援	5. 住宅リフォーム推進事業 (香南市住宅リフォーム補助金)	【当初】 市内に所有し、居住する個人住宅を対象に、住宅のリフォーム工事を行った場合、その工事費用の20％(上限20万円)を補助する事業。 利用度も高く、市内経済にも寄与していることから、R6年度についても継続する見込み。  【10月 末までの取り組み状況】 102件の申請(内4件取下げ)があり、予算1,500万円に対し、1,498万円が交付決定している。5月から受付を開始して、7月上旬の事前申請にて予算枠に達し募集を終了した。(その後取下げ申請があった。) 実績報告済みの総事業費は約8,670万円(64件分)で、未報告分(34件)を含めると目標の10,000万円を達成する見込み。	住宅リフォーム推進事業については、事業開始から10年目となっており、住民および市内事業者への補助制度の周知が進み、利用率も高く、人気の事業となっている。 R6年度も目標値である総事業費10,000万円に達成する見込みであり、市民の生活環境の向上および地域経済の活性化に寄与する取り組みとなっている。	当補助事業は2年ごとに事業継続を見直すこととしており、R6年度は次期(R7～R8)の事業継続の有無を検討する必要がある。 R7年度については引き続き事業を実施する予定としているが、本事業はR6年度で開始から10年目となっており、地域経済の活性化に一定寄与する取組となったと考えており、事業自体の今後の在り方やR8年度以降の事業実施の有無も含めて引き続き検討を行っていく。
	目標値       ：総事業費(10,000万円) 10月末実績：8,673万円(64件) 見込        :14,647万円(98件合計) 【実施主体】 香南市（住宅政策課）  【連携する分野】 -			





令和6年度の取り組み状況 【工業分野】

	R6年度 数値目標	実績値 (10月末実績)	評 価	備 考
製造品出荷額	440億円	－	－	
新規雇用者数	15人	6人	－	



※ 製造品出荷額は、経済構造実態調査（調査年は前年度の製造品出荷額）のR4年工業統計結果

※ 新規雇用者数は、市内立地企業に新たに雇用された市在住の方の数

■ 取組の総評 （※ 左の数値に対しての総評）

<p>【R6.4月～10月末の取組について】(P・D・C)</p> <p>製造品出荷額440億円の目標に対し、R6年実績（R5年1月～R5年12月）の経済構造実態調査結果は未だ公表されていないことから、R6年10月末現在の評価は示していない。また、新規雇用者数については、10月末現在で合計6人となっている。</p> <p>「企業誘致の促進」に向けた取組として、香南市企業立地促進事業費補助金については、操業予定であった企業がコロナウイルスの影響による取り組みの延期、設計の見直し等により、操業開始が延期となっている。</p> <p>「既存企業の育成・支援」については、小学生の夏休み期間に、工場見学ツアーを開催し、若者の地元定住に繋がる取り組みを実施することができた。また、県主催の合同企業説明を開催し、市内立地企業の人材確保にも努めた。</p> <p>【R6.11月以降(R7年度以降含む)の取組について】(A)</p> <p>「企業誘致の促進」については、産業用地となり得る遊休地の把握に努め、企業誘致の促進に向けた取り組みを進めるとともに、立地企業の企業説明会・面接会を開催し、一人でも多くの地元雇用に繋げていく。</p> <p>「既存企業の育成・支援」については、各種支援事業を継続して行うとともに、企業訪問等により市内事業者の課題等を把握し、市内経済の活力再生に繋がる新たな支援策の具現化に努める。</p> <p>また、合同企業説明会を開催（R7年2月予定）し、市内企業の魅力発信や雇用支援にも取り組んでいくとともに、企業訪問を定期的に行い、現状・ニーズの把握に努める。</p>
---

戦略の柱	事業名	R6年度の具体的な取組プラン【P】 R6年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R6年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R6.11月以降及び次年度)に向けて
企業誘致の促進	◆ ものづくりの基盤整備			
	1. 新規工業団地整備事業	【当初】 事業中止		
	目標値：造成基本設計 10月末実績：事業中止			
	【実施主体】 香南市 / 高知県			
	【連携する分野】 -			
2. 香南市企業立地促進事業費補助金	【当初】 ・立地企業の雇用スケジュールにあわせて企業説明会・面接会を開催し、一人でも多くの地元雇用に繋げる。	操業予定の会社が1件あったが、コロナによる取り組みの延期、設計の見直し等により、操業開始が延期となっている。操業開始の期限もあるため、今後も事業の進捗確認等を今後も行っていく必要がある。	今後交付申請予定の1社については、指定申請・補助金交付申請に向けて、ヒアリング等を行いながら連携し進めていく。また、新工場建設に向けて立地企業の雇用スケジュールにあわせて企業説明会・面接会を開催し、一人でも多くの地元雇用に繋げる。	
	目標値：利用件数 1件 10月末実績：0件	【10月末までの取り組み状況】 特に無し		
	【実施主体】 香南市			
	【連携する分野】 -			

戦略の柱	事業名	R6年度の具体的な取組プラン【P】 R6年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R6年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R6.11月以降及び次年度)に向けて
<div>既存企業の育成・支援</div> <div> <div>4</div> <div>質の高い教育をみんなに</div> <div>  </div> </div> <div> <div>8</div> <div>働きがいも経済成長も</div> <div>  </div> </div>	<b>1. 商談会開催事業</b> 目標値：商談件数(50件) <b>10月末実績：21件</b> 【実施主体】 香南市 (公財)高知県産業振興センター 【連携する分野】－	<b>【当初】</b> ・高知県産業振興センターと連携するとともに、企業訪問等により商談会への参加を促すことで受注拡大と販路拡大を図る。 <b>【10月末までの取り組み状況】</b> ・高知県内開催 商談件数…5件(工場視察商談会5回) ・高知県外開催 商談件数…16件(9/19大阪ミニ商談会)	・新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたこともあり、予定どおりの商談会の開催となっており、10月末現在で県内外合計21件の商談実績となっている。 ・不安定な社会情勢の影響により、原油価格・材料価格の高騰等懸念される問題が多く、受注案件の確保が課題となっている。	・引き続き高知県産業振興センターと連携するとともに、企業訪問等により商談会への参加を促すことで受注拡大と販路拡大を図る。
	<b>2. 中小企業者の生産性向上支援事業</b> 目標値：先端設備等導入計画認定件数(15件) <b>10月末実績：新規認定 5件 変更認定 2件(設備追加)</b> 【実施主体】 香南市 【連携する分野】－	<b>【当初】</b> ・市内の中小企業者等が、年3%以上の「生産性向上に繋がる設備計画(先端設備等導入計画)」を策定し、市の認定を受けたうえで実施する設備投資に係る固定資産税率が3年間1/2に軽減されるうえ、さらに賃上げ方針を従業員に表明した場合は最長5年間、1/3に軽減される制度。 ・先端設備等導入計画の認定(受付期間は令和7年3月31日まで) ・認定支援機関等と連携して事業の周知をしていく。 <b>【10月末までの取り組み状況】</b> ・香我美町立地企業交流会及びものづくり会との合同交流会での事業紹介 ・先端設備等導入計画新規認定(5件) ・香南市先端設備等導入事業費補助金交付(6件)	・R5年度税制改正により、中小企業者の前向きな投資や賃上げを後押しするため、新たな固定資産税の特例措置が新設された。 ・10月末現在の認定件数は5件となっており、原油、物価高騰の影響による企業の設備投資の抑制が、認定申請減少の一つの要因として考えられる。	・当事業は、R5年度に新たな固定資産税の特例措置が新設されR7年度末までの事業となっている。計画認定を受けることで活用が可能となる「香南市先端設備等導入支援事業費補助金」により、更なる軽減が図れる旨も説明しながら、引き続き計画の認定支援機関である商工会や金融機関等と連携し、市内の中小企業者に事業の周知を行い、認定件数の増加を図っていく。
	<b>3. 香南市産業人材育成事業(香南市産業人材育成事業費補助金)</b> 目標値：利用件数(5件) <b>10月末実績：3件</b> 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 商業分野・観光分野	<b>【当初】</b> 市内に事業所がある事業主や従業員等を対象に、人材育成に係る研修への参加、講師招聘に係る経費について、1事業所あたり年間20万円を上限として補助。(補助率1/2) 企業訪問や立地企業交流会等で事業の周知を行い利用件数の増加を図る。 <b>【10月末までの取り組み状況】</b> ・香我美町立地企業交流会及びものづくり会での事業紹介 ・補助金交付済(3件)	・香我美町立地企業交流会及びものづくり会との合同交流会等で事業の周知活動を行ったことにより、10月末時点で3件の申請に繋がった。 ・現在、HP等に要綱等の掲載はしているが、事業内容自体を十分に把握されていない事業者も多く、周知の方法等を検討していく必要がある。 ・利用事業者に偏りが出ており、今後更なる周知活動が必要になる。	・引き続き、香我美町立地企業交流会やものづくり会等の会の中での周知や企業訪問による周知活動を継続し、利用事業者の増加を図る。 ・商工会と連携し、より幅広い事業者に対しての周知を目指す。 ・工業分野に限らず、商業や観光業とも連携し、他分野の事業者にも利用していただけるよう連携検討していく。



戦略の柱	事業名	R6年度の具体的な取組プラン【P】 R6年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R6年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R6.11月以降及び次年度)に向けて
<div>既存企業の 育成・支援</div> <div> <div>4</div> <div>質の高い教育を みんなに</div> <div>  </div> </div> <div> <div>8</div> <div>働きがいも 経済成長も</div> <div>  </div> </div>	<div>2-1. 香南市未来人材育成奨学金返還助成事業 (香南市未来人材育成奨学金返還助成事業費補助金)</div> <div> <div>目標値</div> <div>:利用件数 5件</div> <div>10月末実績 : 1件</div> </div> <div>【実施主体】 香南市</div> <div>【連携する分野】 商業分野、観光分野</div>	<div>【当初】</div> <div>人材の確保と市への定着を図る事を目的に、市内に事業所等を有する事業主に雇用され、又は本市において起業する方を対象に、借り入れた奨学金の一部を助成する。(返還奨学金の1/2又は就労期間に10,000円を乗じた額のいずれか少ない額 ※最長8年間)</div> <div>企業訪問や市広報誌+周知媒体を増やし事業の周知を行い利用件数の増加を図る。</div> <div>城山高校の2年生を対象とした合同企業説明会で学生向けの周知も行うとともに、他分野と連携しより効果的な周知を行う。</div> <div>【10月末までの取り組み状況】</div> <div>・香南市広報7月号掲載</div> <div>・香我美町立地企業交流会及びものづくり会での案内</div> <div>・補助金交付済 5件(R3年度認定1件、R4年度認定1件、R5年度認定 3件)</div> <div>・新規認定 1件 (R6年度認定)</div>	<div>HPや広報誌への掲載等を継続し行い、今年度については1名の新規認定に繋がっている。</div> <div>新規認定者数の増加を図るため、昨年度に続き香我美町立地企業交流会及びものづくり会の際に奨学生を雇用する市内のものづくり企業へ事業について周知を行ったが、新規認定者の増加には現時点では繋がっていない。</div> <div>奨学生への周知を行いつつ、事業者へも周知を行い、幅広く事業について認知してもらう必要がある。</div>	<div>イベント開催時等にも積極的に事業の周知をおこない、少しでも多くの事業者や奨学生に知ってもらえるよう活動を行う。</div> <div>市のSNS(LINE・Facebook等)も活用し、若い世代への事業について周知をより効率的におこなう。</div> <div>申請対象者が簡単に情報を取得できるよう、転入手続きの際に事業についての案内チラシを配布するなど、他課とも連携した事業周知の方法を検討していく。</div>
	<div>5. 合同企業説明会の開催</div> <div> <div>目標値</div> <div>: 開催回数(2回)</div> <div>10月末実績 : 1件</div> </div> <div>【実施主体】 香南市 高知県</div> <div>【連携する分野】 -</div>	<div>【当初】</div> <div>合同企業説明会を開催することで、立地企業の魅力を紹介するとともに、円滑な人材確保の支援と若者の地元定着を図る。</div> <div>高知県主催合同企業説明会の開催について、広報等で周知を行い参加者数の増加を図る。</div> <div>R6.2に城山高校での合同説明会開催を予定している。</div> <div>【10月末までの取り組み状況】</div> <div>・高知県主催合同企業説明会の開催(9/11開催、市内参加企業8社、参加者数18人)</div>	<div>・高知県合同企業説明会の周知として、市広報誌やSNS掲載等をおこない、参加者数の増加を図った。</div> <div>・香南市内の専門学校にも声掛けを行ったが、授業受講のため、参加が難しかったこと、また、大学生は春先に就職活動に力を入れる方が多いと思われることから、合同企業説明会への学生の参加者数が少なくなっていると考えられる。</div> <div>・事前予約で参加された方も一定数おり、当日飛び込み参加の人数が多かった。</div>	<div>・城山高校の2年生を対象として、合同企業説明会を開催予定。(R7.2開催予定)、就職の選択肢の一つとして市内企業を知っていただけるよう、企業に参加の呼びかけを行っていく。</div> <div>・学生の参加者を増やしていけるよう、次年度の高知県合同企業説明会に向けて、県や市内学校等とも連携して開催時期等の検討を行っていく。</div>
	<div>6. ものづくり教育推進事業</div> <div> <div>目標値</div> <div>: 工場見学やものづくり体験学習実施回数 (1回)</div> <div>10月末実績 : 1回</div> </div> <div>【実施主体】 香南市</div> <div>【連携する分野】 -</div>	<div>【当初】</div> <div>次代を担う小中学生や高校生を対象に、工場見学の開催および「ものづくり体験学習」を実施し、地元企業との接点を設けることで地元の仕事を知り、地元で暮らすイメージを強めてもらう。</div> <div>見学企業の選定や時間配分等の検討を行う。</div> <div>体験学習等をコースに組み込めるか等についても検討していく。</div> <div>周知方法として、香南ケーブルテレビや関係団体等と連携し、より多くの方々に周知できるようにする。</div> <div>【10月末までの取り組み状況】</div> <div>・市内の小学4年生～6年生を対象として、市内企業の工場見学バスツアーを開催(8/7開催、見学企業 2社、参加人数14名)</div>	<div>・小学生の夏休み期間(8月)に工場見学バスツアーを開催。6月末に市内の全小学校にチラシを配布し、周知を行ったことにより、14名の子ども達に参加してもらうことができた。</div> <div>・家族で夏休みの予定を立てており、参加できない方も見受けられたため、少し募集期間を早めることも検討する。</div>	<div>・次年度の開催に向けて、訪問先企業数の選定やツアーの内容等の検討を行う。</div> <div>・見学だけでなく、体験学習も取り入れることで、子どもたちがより一層楽しめる内容を検討する。</div> <div>・申込を抽選方式にし、より公平性のある募集方法を心掛ける。</div>

令和6年度の取り組み状況 【観光分野】

	R6年度 数値目標	実績値 (10月末実績)	評 価	備 考
観光施設入込客数	121万人	80.4 万人	-	

※ 観光庁の「観光客入込客統計に関する共通基準」に該当する下記対象施設の入込客数。（暦年 1-12月の合計）

【対象10施設】

- ①県立のいち動物公園 :158,603人 / ②月見山子どもの森 :19,130人 / ③ヤ・シィパーク :233,011人
- ④絵金蔵 : 6,937人 / ⑤天然色市場 :26,895人 / ⑥やすらぎ市 :165,478人
- ⑦あぐりのさと : 8,977人 / ⑧黒潮温泉 :103,585人
- ⑨創造広場「アクトランド」:40,631人 / ⑩土佐カントリークラブ : 48,932人

■ 取組の総評 （※ 左の数値に対しての総評）

<p>【R6.4月～10月末の取組について】(P・D・C)</p> <p>数値目標121万人に対し、実績値が80.4万人（達成率66％）となっており、前年度比95％（前年度同時期84.3万人）となっている。今年度は夏の猛暑の影響により、屋外施設への入込が減少したことや8月の南海トラフ地震臨時情報が発令されたことにより、沿岸部の施設への入込に影響したことが考えられる。PR活動においては、日曜市や高知新港での活動は減少しているが、連続テレビ小説「あんぱん」放送決定を契機に物部川エリアでの観光博覧会の周知活動を県内外で活発に実施している。観光客増加が見込まれるチャンスであることから、各施設が連携して誘客につながる情報発信、周遊促進に取り組む必要がある。</p> <p>【R6.11月以降(R6年度以降含む)の取組について】(A)</p> <p>物部川エリアでの観光博覧会「ものべすと」に関連してプレイベントの実施や3月30日にオープニングイベントを開催し、香南市内への誘客、周遊促進を図る。また、高規格道路高知龍馬空港IC～のいちIC間の開通に合わせて自転車イベントを開催する。</p>
--

戦略の柱	事業名	R6年度の具体的な取組プラン【P】 R6年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R6年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R6.11月以降及び次年度)に向けて
	◆ 情報発信手段の効果的な活用			
	1. 香南市のPR活動の強化  目標値：イベント参加数 25回 （日曜市+高知新港PR 参加回数） 10月末実績：11回 日曜市(8回) 4/21・6/23・7/14・8/4・8/25・9/15・10/6・10/27  高知新港(3回) 4/11(リビエラ/アメリカ)・4/19(クイーンエリザベス/日本・欧米)・4/27(ベリッシマ/中国)  土佐赤岡どろめまつり(4/28) 大阪府長居植物園・高知マルシェ(5/18) 青少年育成剣道大会(6/30) ご当地キャラまつりin須崎(9/14-15) 第2回KONAN TRAIL(10/6) 他、アクトファクトリーお披露目会・来賓用記念品(6/18)  ・長宗我部フェス(5/5) ・長居植物園deEXPOよさこい2025×高知県マルシェ(5/18) ・土佐須磨庄土佐ワイナリー出張販売会&物部川エリア	【当初】 観光客や外国人の来訪が期待される日曜市と高知新港へのイベント出店による観光・特産物PRで香南市の認知度向上につなげる。 日曜市・・・新規事業者への出店呼びかけ 高知新港・・・外国語パンフレット配布 【日曜市 15回 / 高知新港 10回 /年】  【10月末までの取り組み状況】 【日曜市】 香南市内事業者に声掛けし、出店を8回行った。ふるさと納税経由での新規事業者から問合せもあり、今年度は枠が埋まっていたため、来年度に出店してもらえることになった。 香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーンのPRやイベントパンフレットの配布を行うことができた。  【高知新港】 昨年度に比べて、出店ができていない。  【その他:イベント】 土佐赤岡どろめまつりをはじめ、各地域のイベントにて、パンフレット等を配布して香南市のPR活動を行った。7月1日より香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャン	日曜市は、出店意欲のある事業者や新規事業者の問合せはあったが、他の市から譲ってもらえる出店日枠の空きがなかったため、昨年より実績が少なくなっている。  高知新港は、香南市観光協会及び物部川DMO協議会で寄港日に都合が合わず、出店回数が減少している。  【香南市観光協会】 日曜市や高知新港への出店は行わなかったが、県外PRは大阪市長居植物園・高知県マルシェに出店で、物部川DMO協議会さんと物部川エリア・香南市のPRをすることができた。  【物部川DMO協議会】 日本人が主に対象となるPR活動では、観光アンケートに「やなせたかしさんが高知県出身とご存じですか?」「アンパンマンの作者がドラマのモデルとなるということをご存じですか?」といった項目を入れ、「あんぱん」放送からの誘客を図る取り組みを行った。 インバウンドも対象となるツーリズムEXPOJAPANでのPRは、高知県内4つの広域組織が「四国」のブースに隣接して観光ブースを設置し、外国語対応可能な職員でPRに努めた。	日曜市は、ふるさと納税出品の事業者に声掛けを行ったり、広報・HPへの掲載で新規事業者の獲得や出店機会の周知を行う。高知新港には出店意欲のある事業者へ声掛けを行い、香南市の特産品や施設等のPRを行っていく。  【香南市観光協会】 県外PR出店の案内等があれば、内容や時期を考慮して参加できるものは出店していきたい。  【物部川DMO協議会】 年度末まで市民に向けたイベント開催や県内外の観光PR出展の機会があるため、積極的に参加し、PRに務める。  【今後の予定】 のいち動物江公園開園記念イベント(11/2～4) よさこいAgain(11/2～4) 山北みかんこもれびマルシェ (11/3) フェスティバル土佐ふるさとまつり (11/15～17) ヤ・シィの秋まつり (11/17) カシオワールドオープン2024 (11/21～24、香南市22日出店) ニッポンのものづくりサイコー!!inのいち(11/30、12/1) 冬の夏祭り (12/7、12/8)




香南市観光  
の発信



<p>ハルノ祭后片上アソシア / 田原観光会 &amp; 物部川エリア 観光PR出展(6/15) ・JAL関西マルシェ(7/1,2) ・ごめんなはり線の日(7/7) ・マリンフェスティバルYASU(7/14) ・香南市みなこい港まつり(7/28) ・よさこい祭り(8/10,11) ・スーパーよさこい(8/24) ・とさとどっぶり高知フェスティバル(9/7,8、10/5,6) ・ツーリズムEXPOJAPAN(9/26-29) ・高知東海岸グルメ祭り&amp;鉄道の日(10/12,13) ・刃物まつり(10/19,20)</p> <p>【実施主体】 香南市 / (一社) 香南市観光協会 / (一社) 物部川DMO協議会 【連携する分野】 -</p>	<p>ペーンを開催し、市内施設を回ってもらい、周遊促進に取り組んでいるが、猛暑により利用が伸びない時期が続いた。</p> <p>物部川エリアでの観光博覧会が開催されるにあたり、これまで出店の機会がなかった県内外のイベント等に積極的に参加し、PRを行った。出店先では物販のほか、観光PRのためのノベルティを観光アンケートへ回答やSNSフォローを条件に配布する。</p>		
<p><b>2. 香南市のPR活動の強化</b></p> <p>目標値 :HPアクセス件数(350,000件) (香南市観光協会HP + Guidoor(多言語観光サイト)の合計) 10月末実績 :231,966件 (訪問者 108,613件、閲覧数 231,919件) Guidoor:47件</p> <p>【実施主体】 香南市/ (一社) 香南市観光協会</p> <p>【連携する分野】 -</p>	<p>【当初】 コンテンツの充実を行うとともに、香南市全体の観光情報・イベント情報を更新および発信するとともに、HPへのアクセスを誘導するステッカー・ポスターを配布し観光情報を広く発信する。 【10月末までの取り組み状況】 1位: 4,154訪問…(7/28) 香南市みなこい港まつり 2位: 3,895訪問…(8/24) 田園祭 3位: 1,997訪問…(6/5) KONAN TRAIL情報公開 【特設サイト】 ・第2回KONAN TRAIL～お塩と羽尾とやすらぎトレイル～特設サイトをオープン ・第3弾香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーン特設サイトを公開 ・キャンペーン開催に合わせ各レンタサイクル施設を発着するモデルコース5ルートを作成し、キャンペーンサイトに公開 ・各施設の詳細ページにSNSを追加 ・トップページの画像を西川花公園よりチューリップに変更 【情報提供先】 高知県公式観光情報Webサイトこうち旅ネット・物部川DMO協議会・高知銀行よさこいおさやく支店・ミカ・高知新聞社ココハレ・四国電力など</p>	<p>【HP】 特設サイト等、タイムリーに情報を公開することができた。</p> <p>●アクセス上位のエリア、高知市、大阪市、広島市、香美市、香南市。内高知市と香南市はページ滞在時間は同じくらいの長さである。検索サイトはGoogleがダントツで多く、続いてヤフー。トレラン開催を掲載した「trailrunner.JP」からのアクセスもあった。</p> <p>Guidoorにおいては、アクセス数が伸びていないため、アクセスしてもらえるように周知する必要がある。</p>	<p>イベント情報等を分かりやすく迅速に掲載していく。 毎年アクセス数が伸びる傾向のある花の情報は、来年からはチューリップ1件になるため、特設ページではなくイベント欄に掲載していくなど、分かりやすい発信方法を探っていく。 HPアクセスについて、解析方法などを学んだり、アクセスした方が他のページにもアクセスし滞在してもらえる工夫などがあれば学びたい。 夏季の高温によりレンタサイクル等の利用が少ないため、サイクリングに適した気温になったところに、香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーンの広告を掲載し、わくわくキャンペーンサイトへの誘導(ページのクリック)を行う予定。</p> <p>R6年度中に改訂するインバウンド向けパンフレットにGuidoorのQRを掲載し、パンフレットからページへのアクセス数の増加を図る。</p>

<div>3. SNSを活用した情報発信</div> <div>目標値 :フォロワー数 (8,000人) (LINE+インスタグラム+Facebook) ※ 香南市観光協会の各SNSを対象 10月末実績 :7,995人 LINEターゲット 584 Insutagram 2,996 Facebook 観光協会 フォロワー 1,180 Facebook 塩の道 フォロワー 1,654 Facebook こーにゃんフォロワー 586 Facebook マリンF フォロワー 56 YouTubeチャンネル フォロワー 376 スレッズ 593 ※項目追加</div> <div>【実施主体】 (一社) 香南市観光協会 【連携する分野】 -</div>			
<div>【当初】 様々なツールを用いた情報発信を行い、香南市の観光情報・イベント情報をリアルタイムで発信する。 ※閲覧数や「いいね」の数等傾向を分析・把握し、フォロワーのニーズに即した訴求力の高い情報を発信する。</div> <div>【10月末までの取り組み状況】 継続して香南市に関するイベント、テレビ、風景、特産品などの情報をタイムリーに発信している。</div> <div>【Instagram】 ●閲覧数74.7万、リーチ6.9万、プロフィールへのアクセス2.4万 ●フォロワー女性59.8%、男性40.2%、上位のエリア高知市、香南市、南国市、土佐市、大阪市、最も多い年齢層は35-44才の女性(11/26時点) ●投稿: (9/2)ありがとう西川花公園！そして新たに生まれ変わる/閲覧数6,086、リーチ4,891、保存27 ●ストーリー: (10/30) 山北みかんこもれびマルシェ/閲覧数705、リーチ647 ●動画: (8/24) 田園祭・香南市こどもよさこい連合会よさこい演舞の配信/閲覧数3,900、リーチ2,038、再生時間13時間19分 ●プロフィールへのアクセス/8/24(田園祭・555)、8/9(よさこい450)、7/28(みなこい港まつり348)、4/1(花315) 【Facebook】 ●リンク: (9/2)ありがとう西川花公園！そして新たに生まれ変わる(ウッドアーティスト高橋成樹さんのYouTube v ol.11をリンクし投稿)/リーチ373</div> <div>Instagramに関連し、スレッズを開設した。各SNSで出来ることが異なるため、効率よく情報発信できるよう工夫している。 YouTubeチャンネルは今期現在まで7本の動画を投稿。(令和3年6月より公開、現在まで全41動画投稿)</div> <div>Instagramではライブ配信を行うようにした。ライブ後には投稿画面に残し、後からも見れるようにしている。 閲覧・リーチなどは、西川花公園や祭りなどは反応がよく、興味の引く投稿であったことがわかる。 祭りの投稿の際に、プロフィールへのアクセスも増えることから、プロフィール内容もイベントに関連するような内容にすると見た人にも新鮮なInstagramだと感じるかもしれない。 いいねについては、ユーザーの興味の引く内容でないと、閲覧してもいいねは押さないとと思うので、いいねを押してもらえる投稿内容かどうか肝心なのだと思う。どんな投稿でもいいねが伸びるわけではない。</div> <div>分かりやすく読みたい・見たい情報であるように継続して取り組む。ストーリー・ノートはできるだけ途切れの無いように投稿していく。プロフィール画面も都度更新していく。 HPアクセス・SNSからの誘導などについて、効果的な分析について取り組んでいく。 Instagramの新機能などの変化にもできるだけ対応していく。 香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーンのSNS広告(Instagram・フェイスブック等への表示)を掲載し、わくわくキャンペーンサイトへの誘導(ページのクリック)を行う予定。</div> <div>【今後の予定】 香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーンでサイクリングに適した気温になった終盤に合わせ、SNS上での広告を予定している。 YouTube動画投稿は、第2回KONAN TRAIL、若一王子宮秋の大祭、のいちんどん、山北棒踊りの投稿を予定している。</div>			
<div>◆ 核となる観光拠点の形成</div>			
<div>1-1. ヤ・シィパークを核とした地域の活性化促進プロジェクト</div> <div>目標値 :道の駅やす入込 (301,000人) 10月末実績 :149,985人</div> <div>【実施主体】 株式会社ヤ・シィ / 高知県 / 香南市</div> <div>【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.15 ヤ・シィパークを核とする地域の活性化の促進</div> <div>【当初】 ◆ヤ・シィパークの整備に向けた協議及び合意形成、整備の実施 ・活性化協議会を通じた運営体制の検討。 ・観光拠点化に向けた運営体制の確立。 ・レンタルサイクル事業の開始。 ・ユニバーサルビーチの活用。</div> <div>【10月末までの取り組み状況】 ○観光拠点化 4月～10月 レンタサイクル(122台) 香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーン参加 7/5 土佐よさこいソーデイウオーク 7/15～8/27 海水浴 7/14 マリンフェスティバルYASU2024 7/31 親子木工教室(月見山こどもの森) 9/15 手結盆踊り 10/6 KONAN TRAIL～お塩と羽尾とやすらぎのトレイル～(一社香南市観光協会) 9/21.22 昆虫展 10/19 芸西竹灯りの宵イベントの駐車場とシャトルバス</div> <div>■空き店舗だったB棟に、4月からカフェがオープン。店舗数は昨年に比べ一店舗増加したものの道の駅の入込数は昨年同時期(153,486人)に比べ全店舗ともに客数が減少した。要因としては、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)の情報が発令され、イベントの延期、書き入れ時の県外客の減少によるものが大きい。</div> <div>■令和5年度に道の駅やす内に誘導看板が更新され、店舗への誘導がしやすくなった。</div> <div>■B棟の新店舗のカフェは開店当初来店客も少なく苦戦していたが、テレビ番組のお店紹介等のPRで一気に来店客が増加した。今後の、更なるPRで周知を図ってきたい。</div> <div>■ヤ・シィパークの整備として11月中にヤ・シィパークと道の駅の大型看板が設置予定。</div> <div>【今後の予定】 ヤ・シィの秋まつり (11/17) ユニバーサル花火大会(11/23) 海辺のイルミネーション(12/1～12/30) 海辺のマラソン大会(12/1) 手結盆踊り延期の花火大会(12/25) ヤ・シィシクロクロスカップ(1/26)</div>			



	<div>1-2.ヤ・シィパークを核とした地域の 活性化促進プロジェクト（manamana）</div> <div>目標値：売上高（56,285千円） 10月末実績：21,376千円</div> <div>【実施主体】 株式会社ヤ・シィ / 高知県 / 香南市</div> <div>【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.15 ヤ・シィパークを核とする地域の活性化の促進</div>	<div>【当初】 ◆売上アップに向けた取り組みの強化 ①内部の体制強化、②店舗の周知 ③外販の強化</div> <div>【10月末までの取り組み状況】 ①内部体制の強化 ・カフェスタッフ1名雇用(10月) 現在、カフェスタッフ5名、アイススタッフ3名で運営している。(すべて非正規雇用) ②店舗の周知 ＜TV取材＞ ・読売テレビ「草薨やすとものうさぎとかめ」にてアイスバーの紹介(4月) ・ネイチャーワールド高知奇跡の美食学にてマヒマヒフライを紹介。(8月) ＜イベント＞ ・マリンフェスティバルへ出店(8月) ・観光列車「時代の夜明け物語」へのアイス提供(10月) ＜SNS＞ Instagramにて随時、発信中。</div> <div>③外販の強化 ＜新規取引先＞ ・お中元ギフト:近鉄百貨店(あべのハルカス10周年記念のトップ扱い)、イオン四国、コープ四国、ベルメゾン(千趣会) ・卸業者:伊藤忠食品(コープきんき、土佐文旦いちご単品宅配便注文)</div>	<div>①内部体制の強化 人員配置としては必要最低人数を確保することができた。 ただし、就職や就学で退職が決まっているスタッフがいたので追って採用を計画している。</div> <div>②店舗の周知 アイスのお店としての認知度が高く、モーニングやランチ、カフェを実施していることがまだまだ訴求できていない。 取材等の機会があれば積極的にPRしていく。</div> <div>③外販の強化 大手の新規取引先が増えたことで大幅な売上アップが図れた。</div>	<div>①内部体制の強化について 正社員の退職者予定者がおり、会社としてすべての部署の人員配置を考えないといけない状況が差し迫っている。 まずは正社員の配置を決め、その後、マナマナのカフェ、アイス部門の人員配置を決めていく予定。</div> <div>②店舗の周知 引き続き、取材等には積極的に応対していく。</div> <div>③外販の強化 アイスバーの外販については原材料の高騰などに伴う卸売価格の見直しを図りたい。また販売数は増えたものの製造数量増加に向けての人的、設備などの投資が出来ない現状、今期レベルの販売数量で利益を出して行けるよう仕入、製造、在庫等の管理体制の見直しをしてゆかなければならない。</div>
<div>観光の育成に 向けた取り組み</div> <div><div>8</div><div>働きたいも 経済成長も</div><div></div></div>	<div>2. 三宝山エリア活性化促進プロジェクト [地域と連携した高知県産ワインのブランド化促進事業]</div> <div>目標値：売上高(75,246千円) 10月末実績：41,172千円</div> <div>【実施主体】 井上ワイナリー株式会社 井上石灰工業 株式会社 高知県 / 香南市</div> <div>【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.5 高知県産ワインの生産拡大及びブランド化の推進</div>	<div>【当初】 県産ブドウおよび県産カンキツを使用した新商品開発を行い商品拡充を図る。 市内の他事業者と連携し、定期的なイベントの開催を目指す。 県内企業や集落活動センターなどと連携して契約栽培を広げる。</div> <div>【10月末までの取り組み状況】 【新商品開発】 ・県産りんごのシードル及び甲州を醸したオレンジワインを製造・販売 【製造設備導入に関して】 ・1月にスパークリング用の打栓機を導入。 ・ものづくり補助金を利用した設備(タンク)が8月に設置完了。 【ブランドの確立】 ・ワイナリーアワード3つ星獲得 ・日本ワインコンクール「欧州系白品種部門」で山北地区で栽培するシャルドネが入賞(銀) ・第18回フェミニナリーズ世界ワインコンクール/仏にて山北地区で栽培するシャルドネ・アルバリーニョが入賞(ゴールド) ・6月に都内でワイン会を実施(3日間) 【他事業者との連携など】 ・佐川町産のりんご生産者と連携してシードルの製造。 ・県、他行政主催のイベントへの積極的参加 ・県内外の事業者と新商品造りを実施。</div>	<div>高品質な葡萄が栽培できており、ワインの品質が安定していること、また磨き上げが進んだことで昨年度よりもコンクールでの受賞数とランクが上がった。 都市部からの団体、個人のワイナリー見学の申込が増えてきている。</div> <div>【課題】 製造と地域連携等を平行して行うための人員不足。 観光的な側面での来所者数を増やす取り組みが出来ていない。</div>	<div>観光の視点をもったスタッフの養成を行いたい。 県産ワインの本数には限りがあり、また畑の規模拡大も実施しているが数年先の見通しのため、観光地として機能できる仕組みを検討する必要がある。</div>







<div>2. 塩の道を活用したイベントの開催</div> <div>目標値 :塩の道を活用したイベント参加者数 (470人)</div> <div>10月末実績 :339人</div> <div>① トレイルランニングレース( 215人)</div> <div>② 30kmうおーく (124人)</div> <div>【実施主体】 (一社)香南市観光協会 / 土佐塩の道保存会</div> <div>【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.14 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取組の推進</div>	<div>【当初】 塩の道を活用したイベントを開催し、塩の道の次世代への継承と観光客増加をはかる。</div> <div>① トレイルランニングレース</div> <div>② 30kmうおーく</div> <div>【10月末までの取り組み状況】 ①KONAN TRAIL～お塩と羽尾とやすらぎトレイル～ 10/6に第2回を開催。エントリー数:241名、出走者数:215名、完走者数:203名、完走率:94%であった。エントリーエリアは四国より223人(内高知県184名香南市25名)、九州4人、中国2名、関西4名(うち1名外国籍)、中部2名、関東6名(うち2名外国籍)であった。今回も視覚障害と伴走者、招待選手、スポンサー招待選手に参加していただいた。</div> <div>② 30kmうおーく 4月20日開催、参加者数124人。</div>	<div>①KONAN TRAIL～お塩と羽尾とやすらぎトレイル～ 事前の整備等も夜須町まちづくり協議会の皆様をはじめ、地域の皆様の協力をいただき、当日は天候に恵まれたが、かなり日差しが強く気温も高めだった。大きな事故もなく無事に開催することができた。ゴール後の賑わい作りや出店など新しい取り組みも行った。アンケートではエイドで提供された地元の食を楽しんでいただき、自然やスタッフの対応などにも良い評価をいただいた。 ルート上にスズメバチの巣があり駆除できなかったので、急遽迂回ルートを作成した。 今年も試走等の為羽尾に上がり、大釜荘の利用をしてくれるランナーもあり、羽尾に足を運ぶきっかけづくりにもなった。</div> <div>②土佐塩の道30kmうおーく 20kmうおーくコースと30kmうおーくコースの2コースで実施した。例年参加していただける方もおり、香美市から香南市まで景色を楽しみながら参加していただいた。 課題としては、赤岡保健センターのトイレを使えず出発が少し押してしまった。後半あまり時間を気にしている方が少なく文代峠での関門時間を過ぎる方が大勢いた。タクシーでの運搬が難しかったため、余裕のある方は自力で歩いていただいた。</div>	<div>①KONAN TRAIL～お塩と羽尾とやすらぎトレイル～ 第3回大会の開催に向け、地域の方と相談しながら、トレイルを増やす、香南市ならではの大会内容大会、賑わいづくりなどにも取り組んで行く。 第3回大会も10月第1日曜日をの開催を予定し、募集人数を300人で計画を進めていく。</div> <div>②土佐塩の道30kmうおーく 今回の課題としてペースキーパーを依頼していたが、機能していなかったため、再度調整や確認を行い改善を図る。</div>
<div>3. マリンスポーツの推進</div> <div>目標値: 大会参加者数+マリン体験の参加者数 (270人)</div> <div>10月末実績 :345人</div> <div>【実施主体】 NPO法人YASU海の駅クラブ</div> <div>【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.14 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取組の推進</div>	<div>【当初】 香南市マリンスポーツ施設やヤ・シィパークを活用した大会を開催するとともに、来訪者が手軽にマリンスポーツを満喫できるようマリン体験(SUP、ディンギーヨット等)を実施。マリンスポーツの推進を図る。</div> <div>【10月末までの取り組み状況】 学校(小～高校・特別支援学校)や障害児・者の体験の受入れを行ったり、学校へ出前授業に赴き、海や水に関する教育や体験活動を行った。</div> <div>①県外からの修学旅行体験:0人</div> <div>②学校・教育団体体験:368人 6/19(35)・6/20(27)・7/4(50)・7/16(51)・8/2(22)・8/9(19)・9/3(19)・9/6(31)・9/10(8)・9/18(28)・10/8(39)・10/22(12)・10/24(27)</div> <div>③障がい児・者の受入れ:124人 6/16(7)・ 8/1(20)・8/3(30)・8/4(25)・8/8(10)・9/4(12)・9/8(12)・9/28(8)</div> <div>④その他受入れ(会社研修等):145人 6/2(5)・7/20(8)・6/21(14)・8/7(33)・8/11(20)・8/12(18)・8/25(17)・9/7(30)</div> <div>⑤一般体験者 : 延べ2人</div> <div>⑥大会参加者 【インカレ】7/6(120)7/7(123) 【国体予選】7/14(50)7/15(50)</div>	<div>夏期シーズン中、連日に亘って熱中症警戒アラートが発令されたり、また、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発令されたりするなど、気象事情に左右された。先方からのキャンセルや、事業所の判断で中止せざるを得なかった。 また、個人のマリン体験受入れや主催の大会などに関しては、職員の人数不足や気象状況などにより行えていないのが現状である。</div>	<div>気象状況による対応に関しては、来年度に向けて理事会でも議論し、夏期シーズン及び9月に入っても熱中症警戒アラート発令時には受入れを中止することとなった。新たなプログラムなどの代替案は検討中である。 また、当事業所の前の海は石に貝が付着して、それによってケガをする体験参加者が多数おり、そして津波発生時にも避難するのに時間がかかるという危険を懸念し、来年度からは体験の場所を移してヤ・シィパークで活動を行うなど、対策を練っている。</div>

<div> <div> 受入体制の強化 </div> <div> <div>8</div> <div>働きがいも 経済成長も</div> <div> </div> </div> </div>	◆おもてなしの向上			
	1.香南市案内人会の拡充 目標値：案内人会会員数（34人）※延べ 10月末実績：19人 【実施主体】 香南市案内人会 【連携する分野】－	【当初】 会員増に向けた勧誘や広報に取り組み、ガイド受入可能な体制の強化を図っていくとともに、ガイド技術向上のための勉強会や研修会を開催する。 【10月末までの取り組み状況】 ・高知高等専門学校による観光ガイドの取り組みで、野市町の魅力ある観光コースを作る取り組みを行っている。 ・勉強会や研修はまだ行っていない。	・高専の学生との話し合いができていないことから、観光コース作成に向けて話し合いを進める必要がある。 ・ガイドの高齢化と若い人の参加が必要になる。このためにガイドの研修など行える環境を整えることが大事。	高専の学生と野市町の観光コースを作っていく。 暑さが解消した為、会議や勉強会などを開きガイドの技術向上を行ってゆく。 【今後の予定】 2025年3月29日から、ものべがわエリア観光博『ものべすと』が始まり香南市は赤岡町を中心に発信していくことで、あかおか駅から赤岡の街をガイドする場面も多くなることから案内人也会もガイドができる体制を作っていく。
	2.外国人観光客受入研修の実施 目標値：参加事業者数 10事業者 10月末実績：事業者 【実施主体】 （一社）物部川DMO協議会 香南市 【連携する分野】－	【当初】 観光関係事業者向けインバウンド研修を開催し、文化やマナー、接客英語の習得を促し、外国人観光客とのコミュニケーション能力向上へ繋げる。 【開催時期】（講師：民間企業を予定） 【10月末までの取り組み状況】 昨年までの取り組みを実践の場で体験する研修を計画。英語圏、台湾出身者にモデルとなってもらっての実地研修を想定。	多種多様な場面が想定されるため、対応例の策定が難しい。	国内有名観光地の対応事例を挙げ、参考にする。
	3. アンケート調査の実施 （観光地点パラメータ調査） 目標値：実施 10月末実績：実施 【実施主体】 （一社）物部川DMO協議会 香南市 【連携する分野】－	【当初】 香南市を訪れた観光客を対象としたアンケート調査を実施し、観光客の属性・消費傾向等を把握する。また、効果的な観光施策を展開していくための基礎資料とし、調査結果を個々の取り組みに反映する。 【10月末までの取り組み状況】 物部川エリア3市の観光施設29か所（うち香南市15）にアンケートカードを設置し、エリアを訪れた観光客を対象とした調査を実施。 WEBでのアンケートは10月末時点で220件。 GWにのいち動物公園、ヤ・シィのマリンフェスティバル時に対面でアンケートを収集。エリア外からの観光客：実績147件。ものべがわエリア内住民満足度調査：53件。 観光客の属性、消費動向把握を継続中。	物部川エリアでの観光博覧会でのKPI収集のため、これまでWEBで行ってきたアンケートの一部に加え、新たな質問を対面で聞き取り調査した。WEBでのアンケートが各地で増えたためか、収集数が減っている。 「子育てファミリー」をターゲットとするため、アンケート場所に子どもの目を引くガチャガチャを設置。こーにゃんやごめんなはりせんのキャラクター缶バッジなどを景品としている。	アンケート収集数を増加させるため、アンケートの謝礼品をもらえる個所を増やすなど、対応を検討する。 対面での聞き取り調査により、年度内に香南市ではあと2回、3市合計5回行う。